

第8章

資料編

1 計画策定までの経緯

平成 26 年 3 月	札幌市スポーツ推進計画策定
平成 31 年 3 月	札幌市スポーツ推進計画（改定版）策定
令和 4 年 3 月	第 3 期スポーツ基本計画策定
令和 4 年 8 月	第 29 期第 1 回札幌市スポーツ推進審議会
令和 4 年 9 月	市民・スポーツ関係団体アンケート
令和 4 年 12 月	トップスポーツチームヒアリング
令和 5 年 1 月	第 29 期第 2 回札幌市スポーツ推進審議会
令和 5 年 3 月	教育委員会会議審議
令和 5 年 7 月	第 29 期第 3 回札幌市スポーツ推進審議会
令和 6 年 3 月	第 29 期第 4 回札幌市スポーツ推進審議会
	教育委員会会議審議
令和 6 年●月	パブリックコメント実施
令和 6 年●月	第 2 期札幌市スポーツ推進計画策定
令和 6 年●月	第 2 期札幌市スポーツ推進計画の公表

2 令和4年度指標達成度調査結果

■ 設計

調査期間	令和5年（2023年）2月8日（水）～3月3日（金）
調査方法	郵送法
調査対象者	札幌市全域の18歳以上の男女4,000人
抽出方法	住民基本台帳からの等間隔無作為抽出法

■ 回収結果

発送数	4,000通
回収数	1,046通
回収率	26.2%

■ 回答者の属性

		回答者数	男性	女性	その他	無回答
全体		1,046	423	605	3	15
性別	男性	423	423			
	女性	605		605		
	その他	3			3	
	無回答	15				15
年代別	18～19歳	3	1	2	0	0
	20～29歳	48	16	30	2	0
	30～39歳	95	33	62	0	0
	40～49歳	139	50	88	0	1
	50～59歳	158	51	106	1	0
	60～64歳	120	47	73	0	0
	65～69歳	133	57	75	0	1
	70歳以上	338	168	167	0	3
	無回答	12	0	2	0	12
居住区別	中央区	125	46	75	2	2
	北区	157	62	95	0	0
	東区	189	38.1	61.4		0.5
	白石区	115	43	71	1	0
	厚別区	73	30	42	0	1
	豊平区	102	44	57	0	1
	清田区	64	26	38	0	0
	南区	77	34	43	0	0
	西区	103	39	64	0	0
	手稲区	77	35	42	0	0
	無回答	12	0	2	0	10

■ アンケート結果（スポーツ関連部分を抜粋）

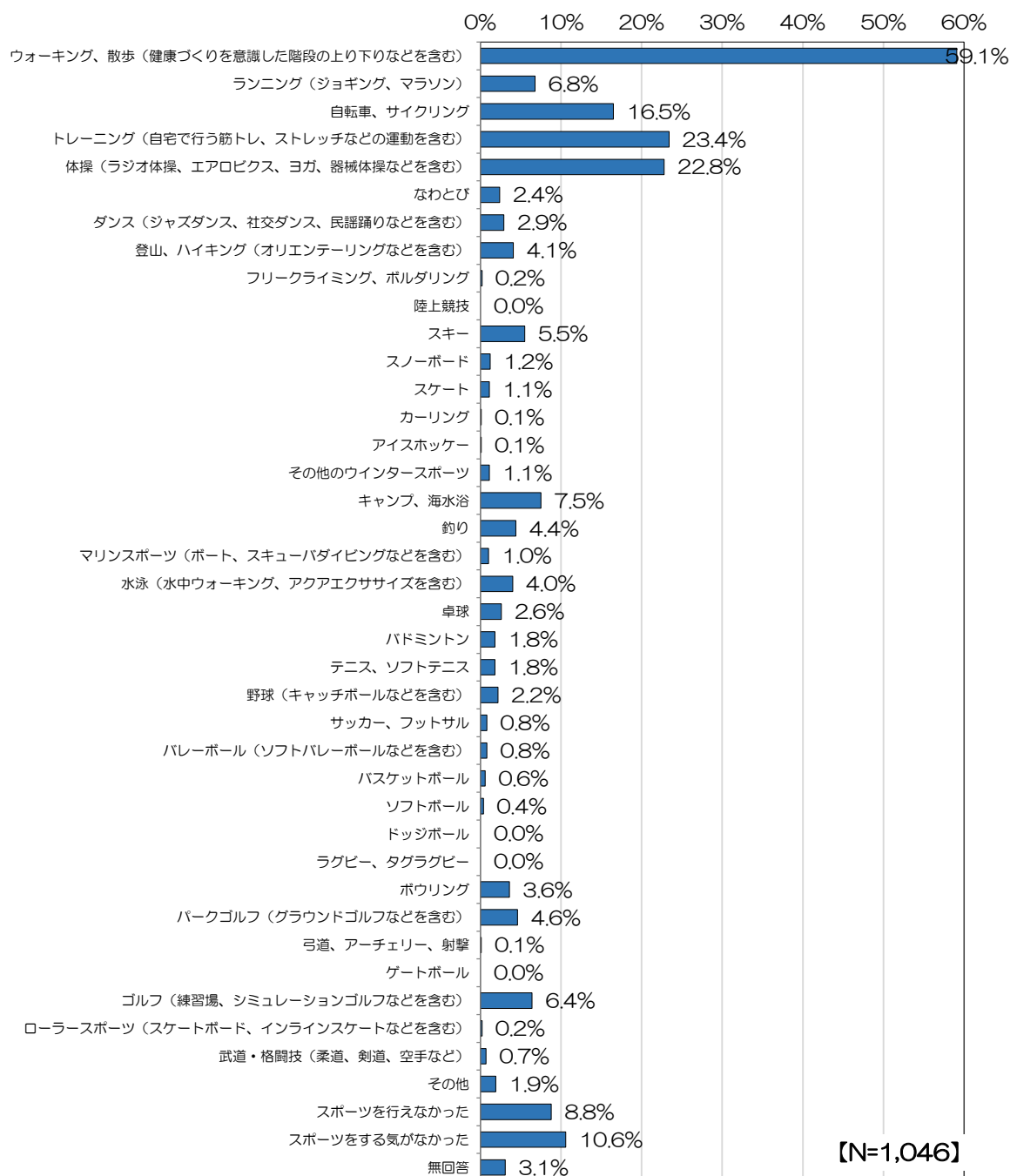
【問】あなたは、この1年間に運動・スポーツを行いましたか。行った場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。

なお、運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩通勤、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。運動・スポーツを行わなかった場合は、「スポーツを行えなかった」または「スポーツをする気がなかった」のいずれかに○をつけてください。

※ 障がいに応じた用具やルールの変更などがある競技はもとの競技に含みます。

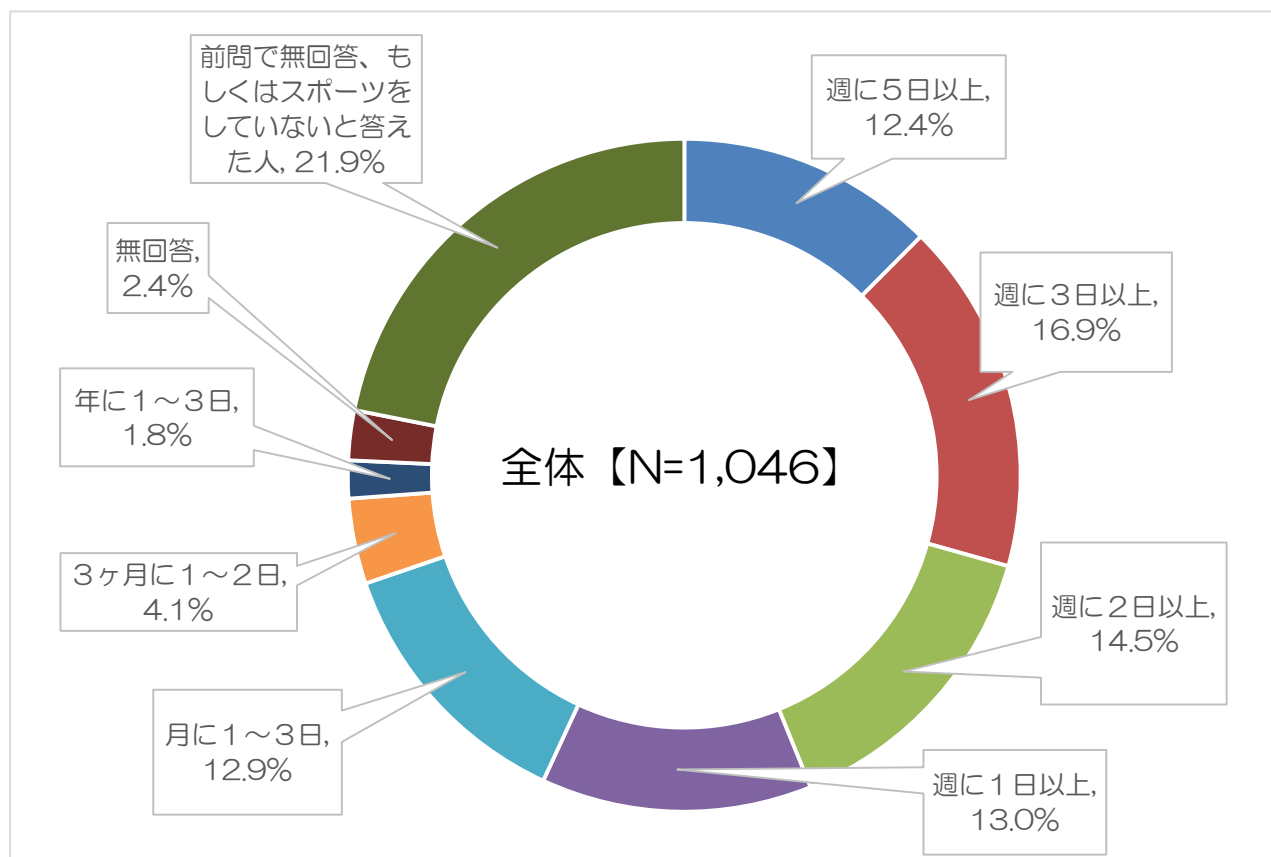
例：車いすマラソン → 2. ランニング（ジョギング、マラソン）

ブラインドサッカー → 25. サッカー、フットサル



※ 前問で、いずれかのスポーツに○をつけた方にお聞きします。

【問】あなたが、前問 で答えた運動・スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



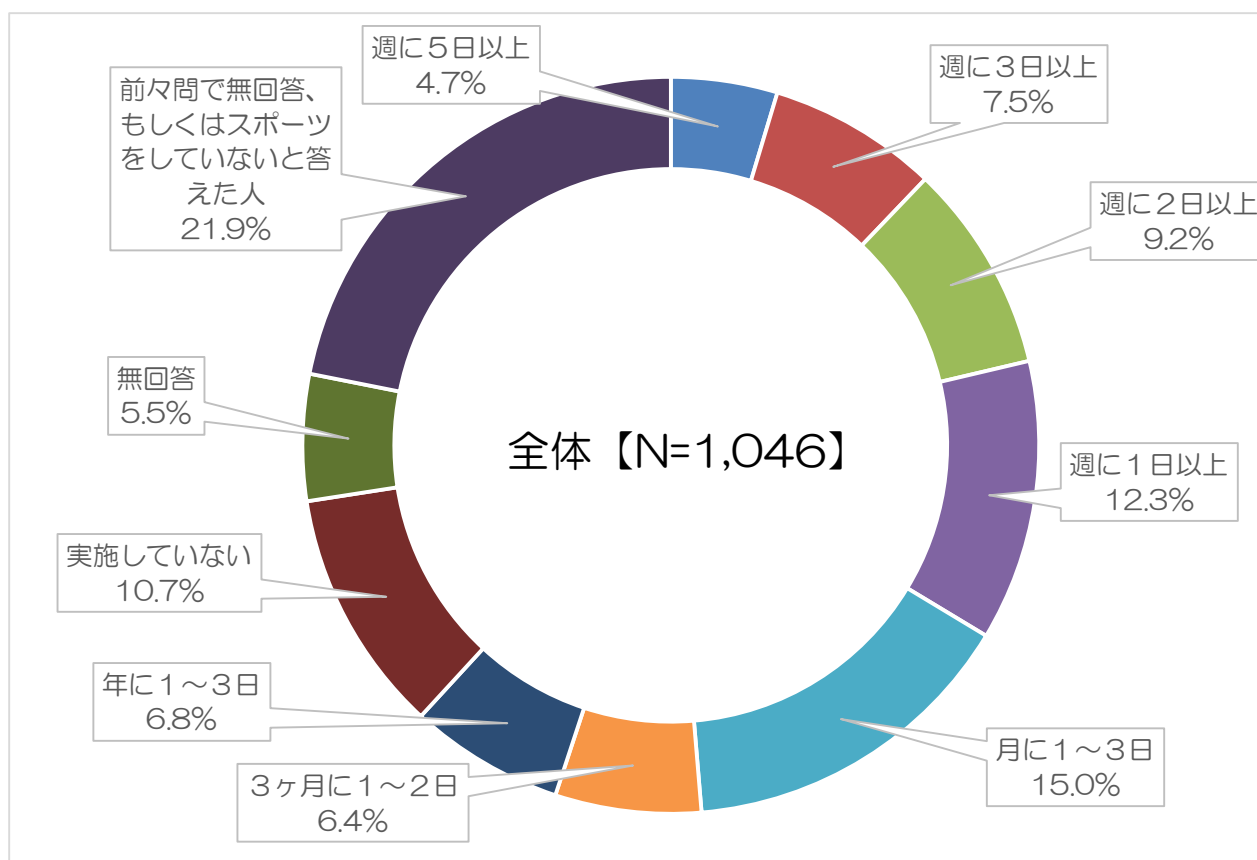
※スポーツ実施率の算出について

スポーツ実施率は、20歳以上のうち、「週1日以上（年51～100日）」、「週2日以上（年101日～150日）」、「週3日以上（年251日以上）」、「週5日以上（年251日以上）」と回答した人数の割合です。

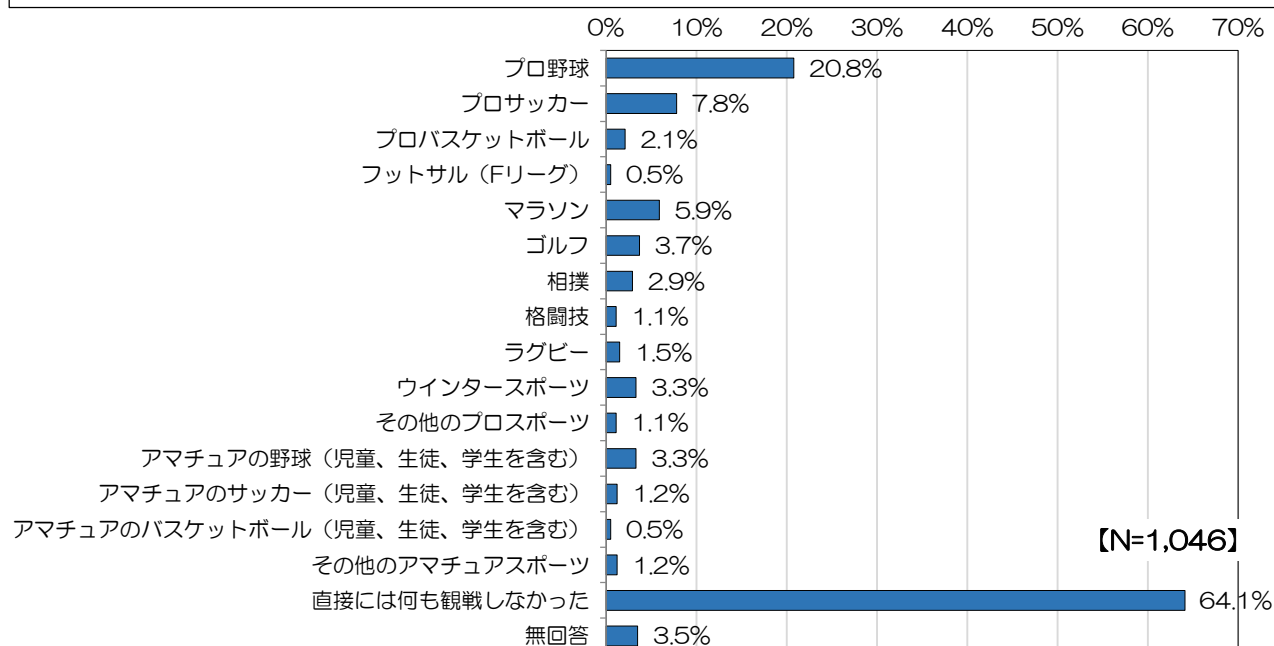
上記グラフは18歳、19歳を含んでいることから56.9%という数字になりますが、20歳以上で算出すると、57.0%になります。

※ 前々問で、いずれかのスポーツに○をつけた方にお聞きします。

【問】あなたが、前々問で答えた運動・スポーツを行った日数のうち、「汗をかく運動・スポーツを30分以上実施した日数」は1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの一つに○をつけてください。



【問】あなたは、この1年間に（テレビなどではなく）直接スポーツを観戦しましたか。観戦した場合は、あてはまるものすべてに○をつけてください。



■ 設計

調査期間	令和4年9月～令和4年10月
調査方法	郵送配布・郵送回収及びWEB回答フォームでの回収
調査対象者	18歳以上の市民4,000人
抽出方法	住民基本台帳からの等間隔無作為抽出法

■ 回収結果

発送数	4,000通
回収数	1,146通
回収率	28.7%

■ 回答者の属性

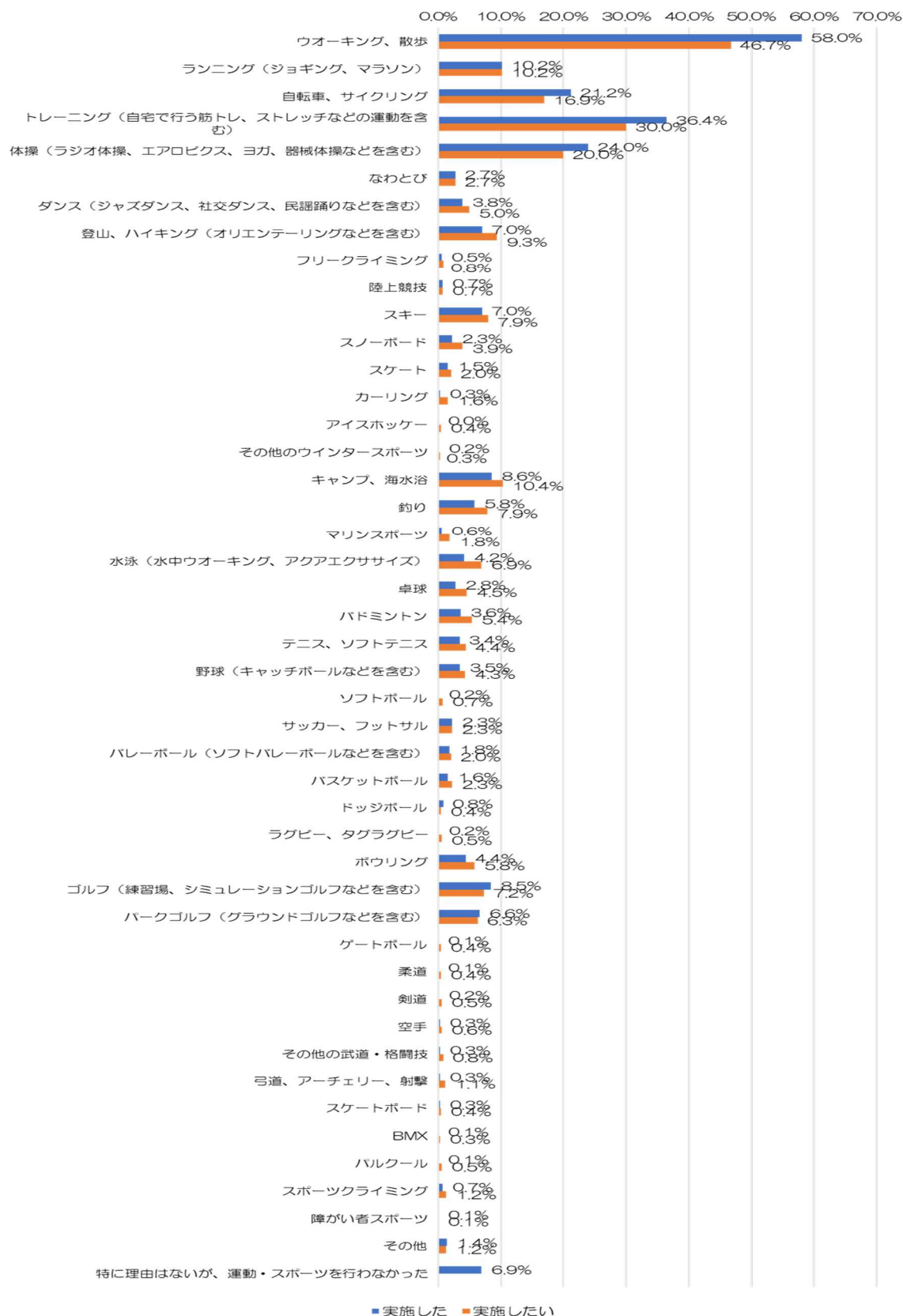
		実数	比率(%)
対象者全体		1,146	28.7
性別	男性	502	43.8
	女性	629	54.9
	その他・答えない	9	0.8
	無回答	6	0.5
年代	29歳以下	83	7.3
	30～39歳	128	11.2
	40～49歳	177	15.4
	50～59歳	191	16.7
	60歳以上	561	49.0
	無回答	6	0.6

運動・スポーツ実施状況について

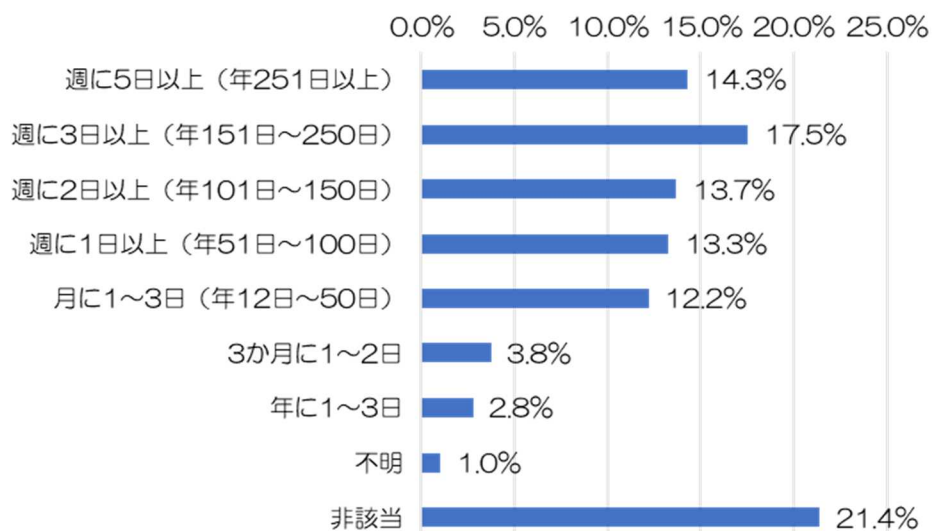
問 1 あなたが過去1年以内に行った種目があれば、あてはまる種目の「実施した」欄に○を記入してください。

また、今後、行いたいと思っている種目があれば、あてはまる種目の「今後（も）実施したい」欄に○を記入してください。

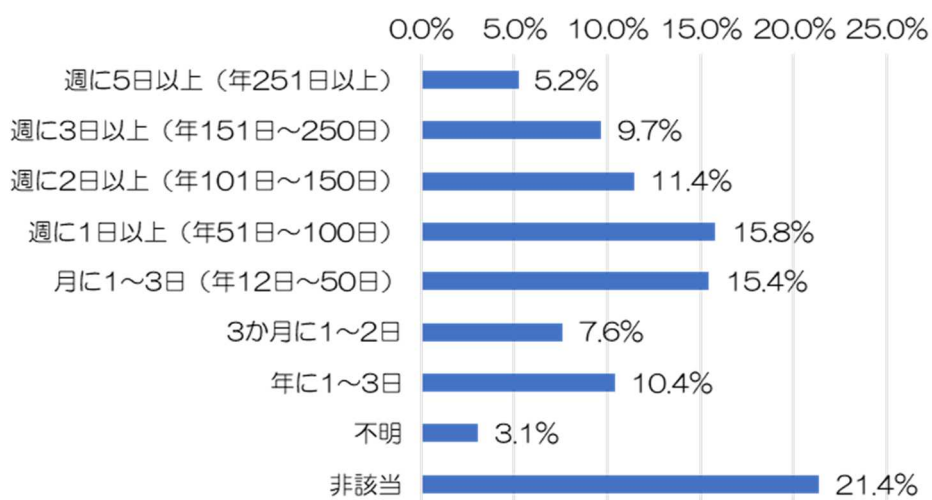
※ 運動・スポーツには、健康づくりを意識して日常生活で行う軽い運動（徒歩運動、自転車通勤、階段の積極的な利用など）も含まれます。



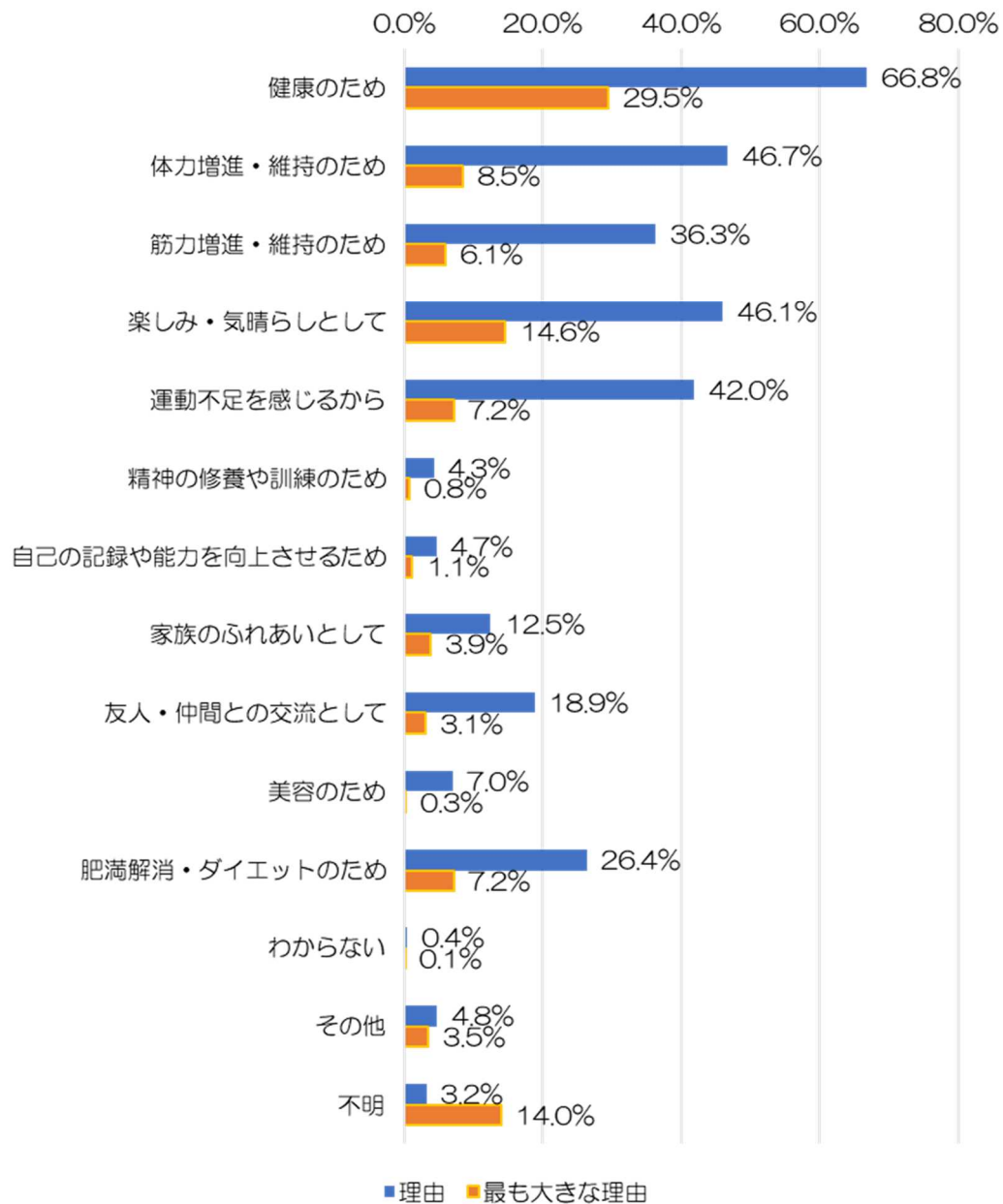
問 2 問1で、「実施した」に1つでも○をつけた方にお聞きます。
あなたが問1で答えた運動・スポーツを行った日数を全部合わせると、1年間で
何日くらいになりますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。



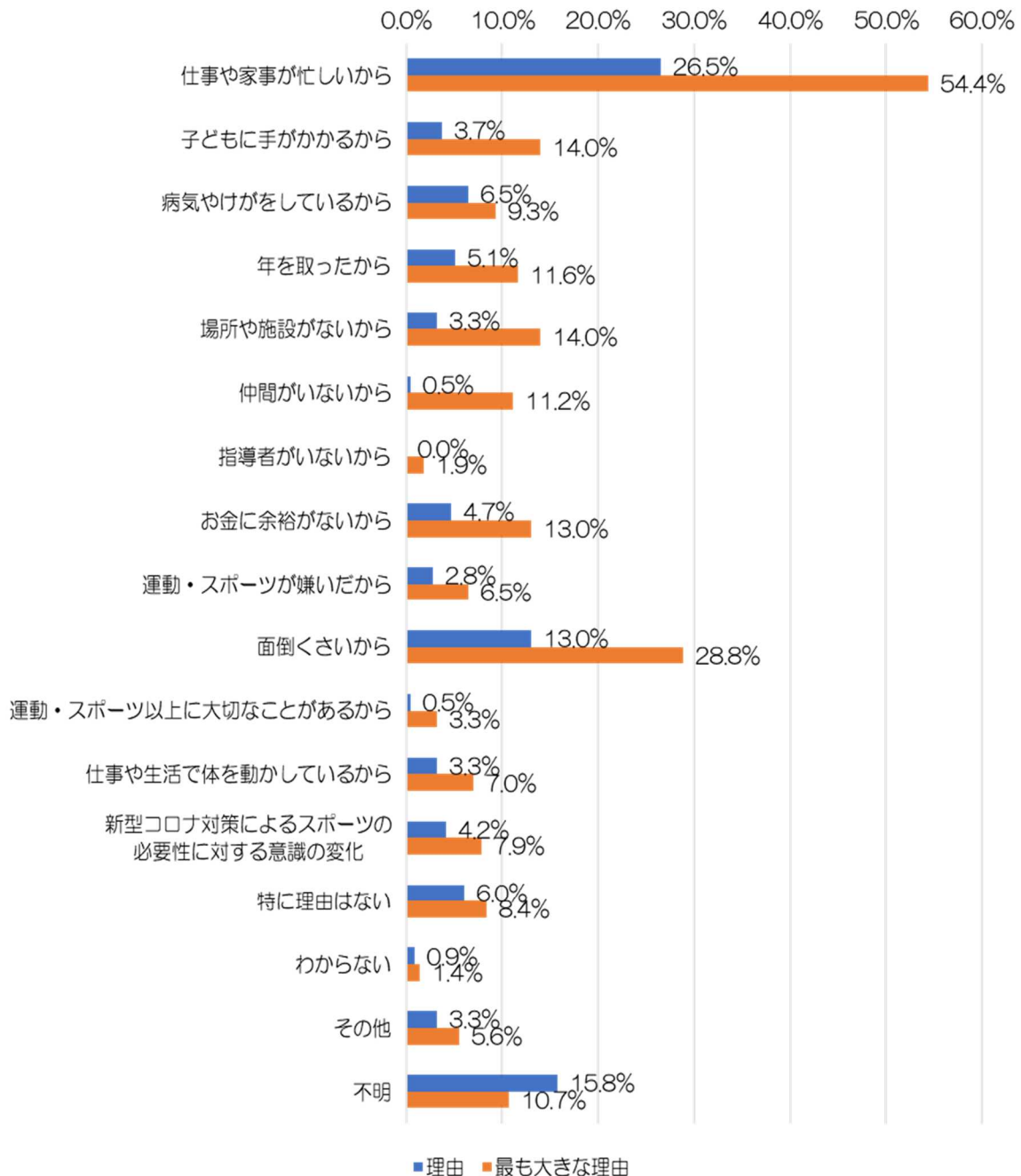
問 3 問1で、「実施した」に1つでも○をつけた方にお聞きます。
あなたが問2で答えた運動・スポーツを行った日数のうち、「汗をかく運動を
30分以上実施した日数」は1年間で何日くらいになりますか。あてはまるもの
1つに○をつけてください。



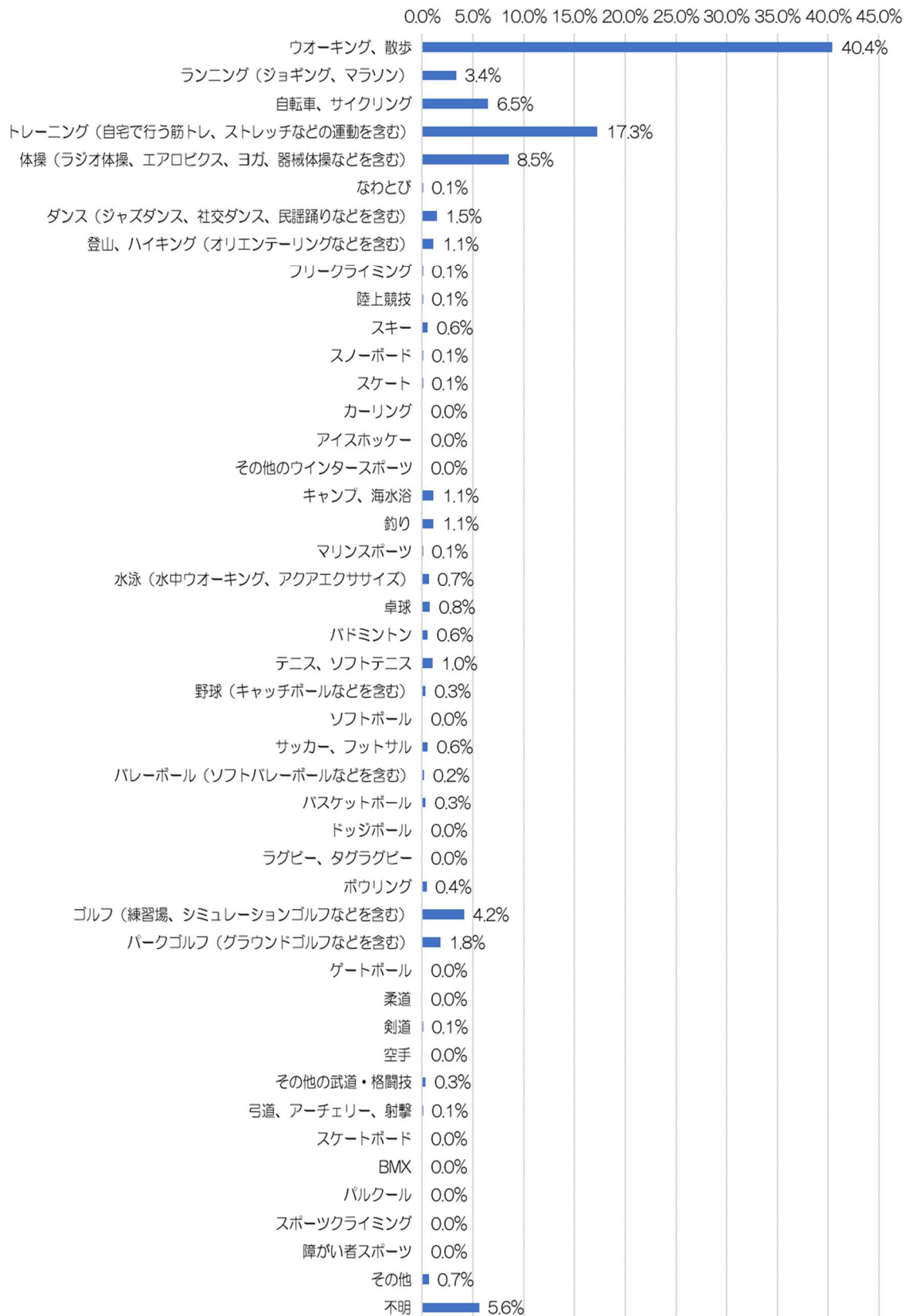
問 4 問1で、「実施した」に1つでも○をつけた方にお聞きします。
この1年間に、あなたが運動・スポーツを実施したのはどのような理由からです
か。あてはまるものすべてに○をつけてください。
また、そのうち最も大きな理由1つについて、記入してください。



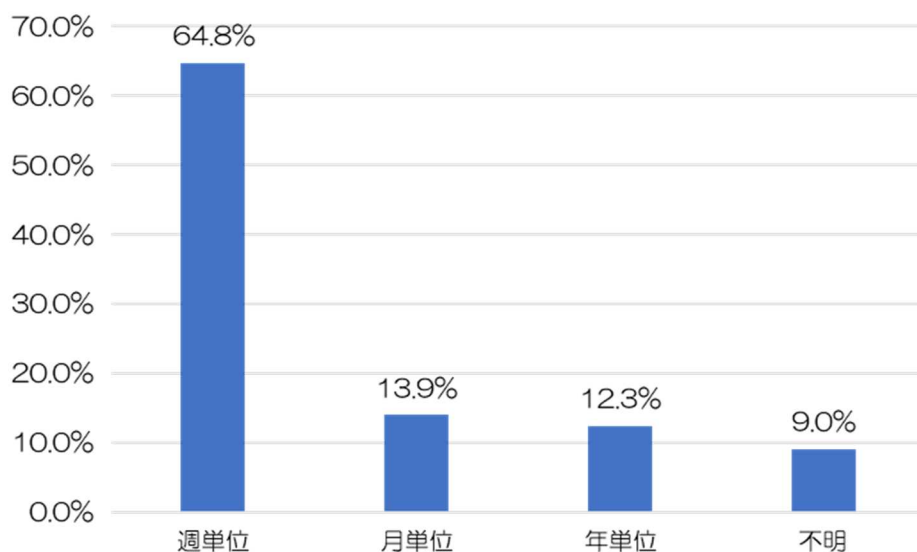
問 5 問2で1年間の運動・スポーツ実施日数を50日以下と答えた方にお聞きます。
週に1日以上（年51日以上）運動・スポーツを実施できなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。
また、そのうち最も大きな理由1つについて、記入してください。



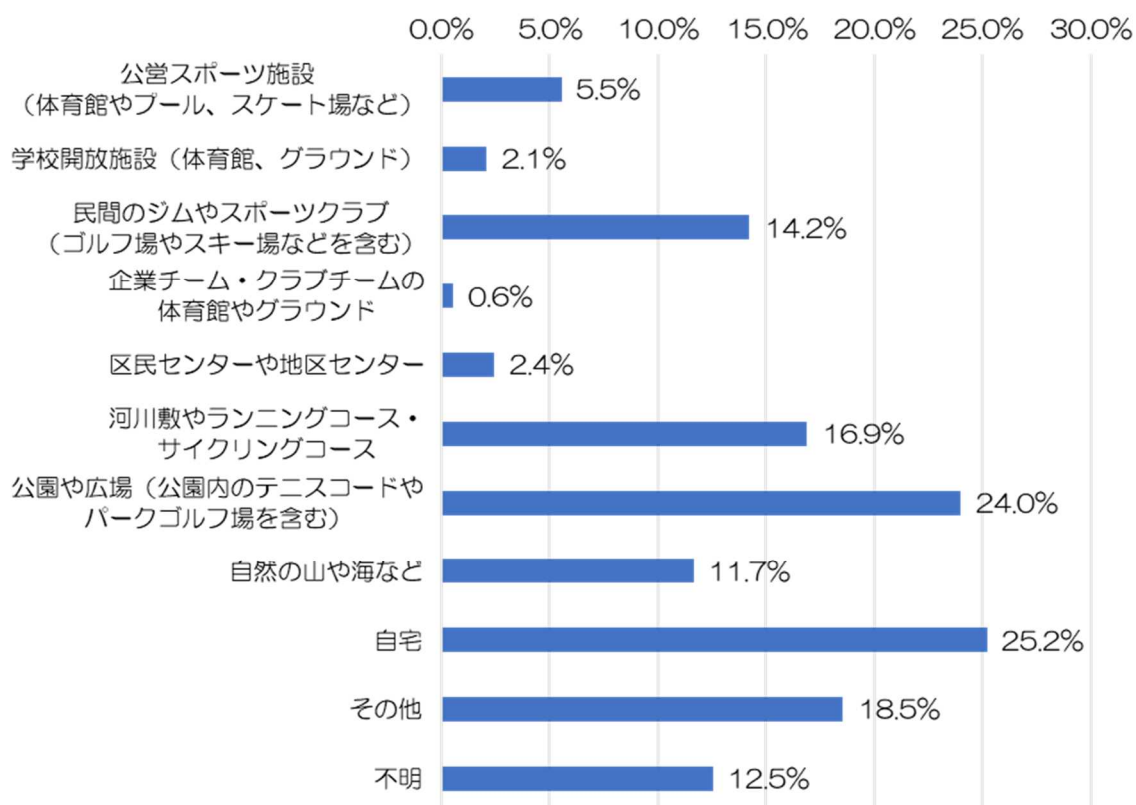
問 6-A-① 問 1 で、「実施した」に 1 つでも○をつけた方にお聞きます。
過去 1 年間に行なった運動・スポーツのうち、実施回数が 1 番目に多い種目
を選んでください。



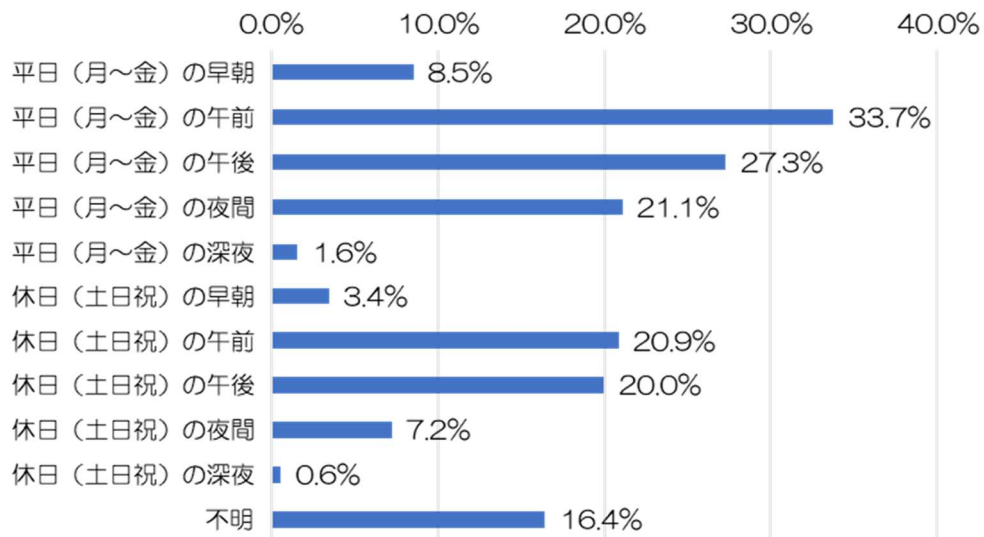
問 6-B-① Aで選んだ運動・スポーツをこの1年間にどのくらいの頻度で行いましたか。



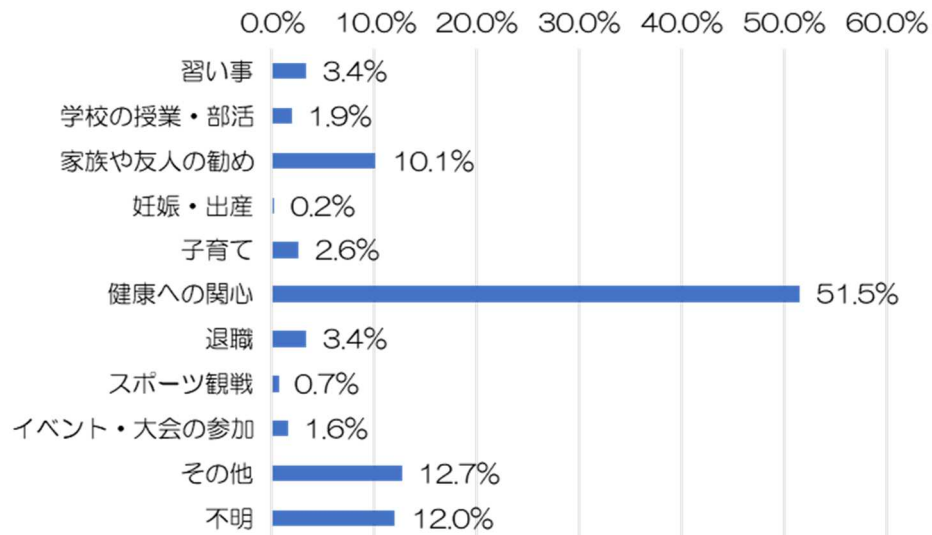
問 6-C-① 使用する施設・場所はどこですか。あてはまるものから3つまで選んでください。



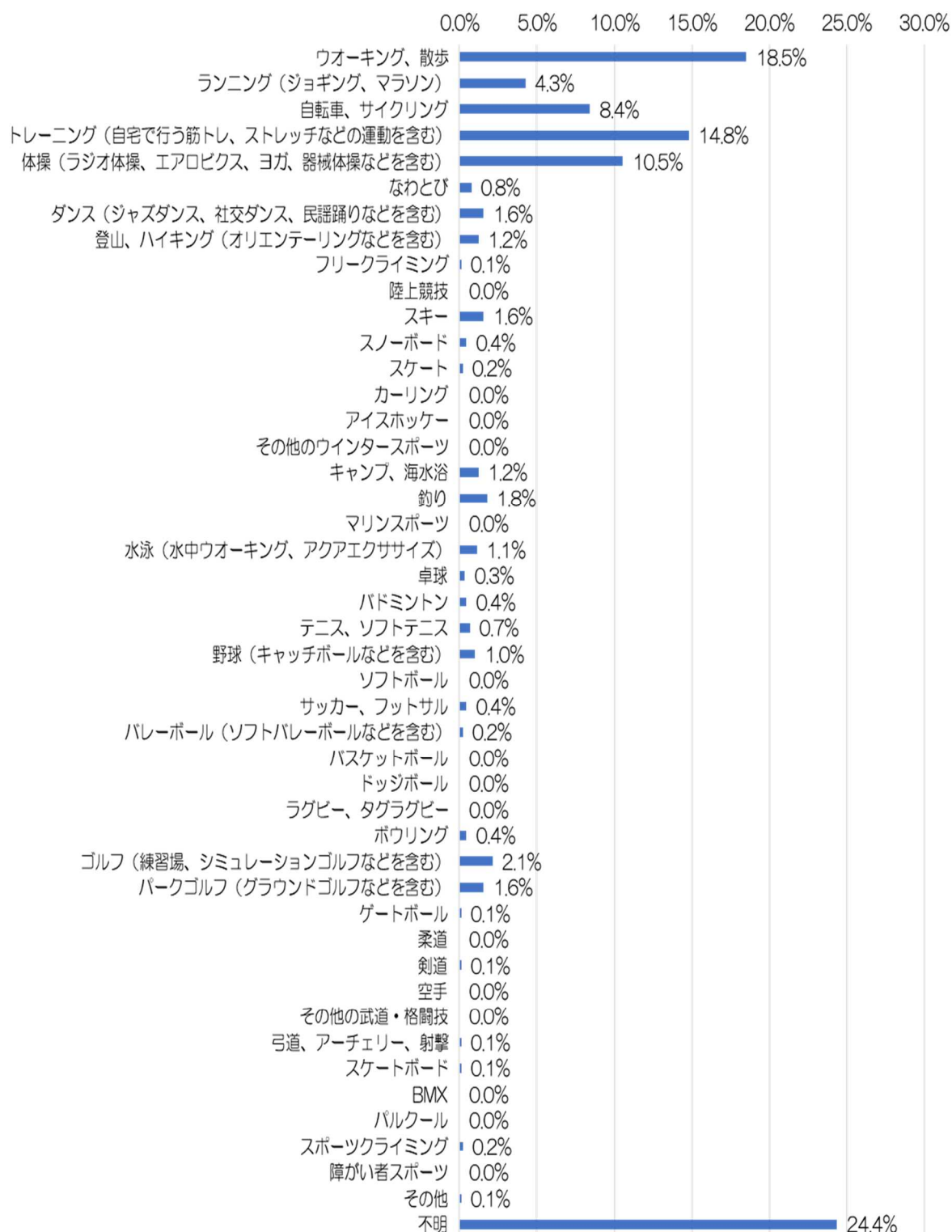
問 6-D-① Cで選んだ施設・場所を利用する時間帯は主にいつですか。あてはまるものから3つまで選んでください。



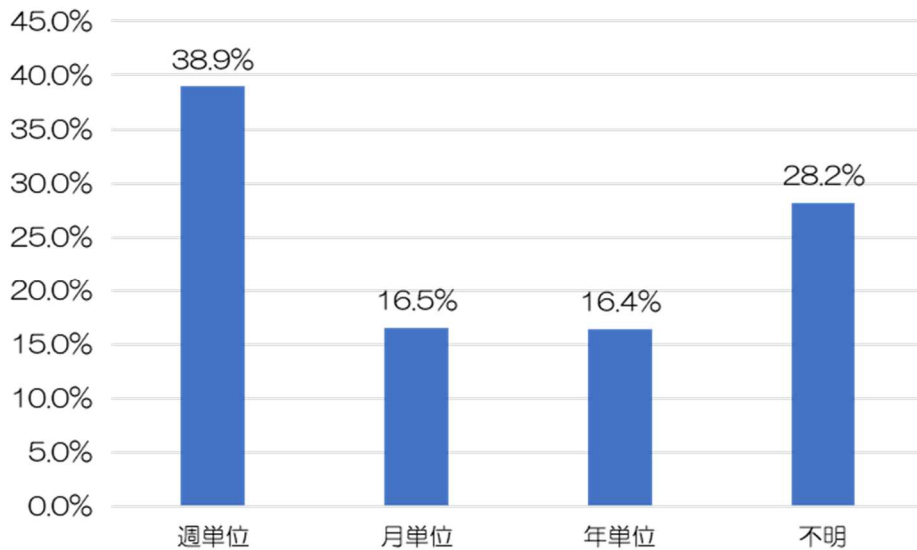
問 6-E-① その種目を始めた主なきっかけは何ですか。最もあてはまるもの1つを選んでください。



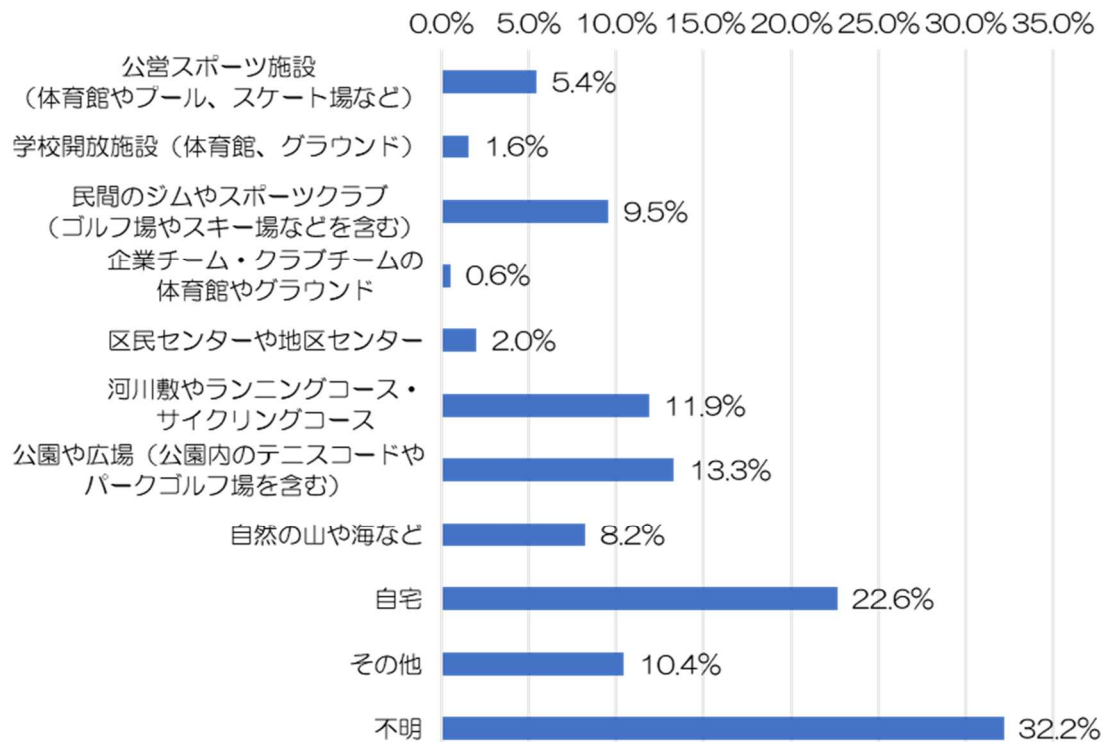
問 6-A-② 問 1 で、「実施した」に 1 つでも○をつけた方にお聞きします。
過去 1 年間に行なった運動・スポーツのうち、実施回数が 2 番目に多い種目
を選んでください。



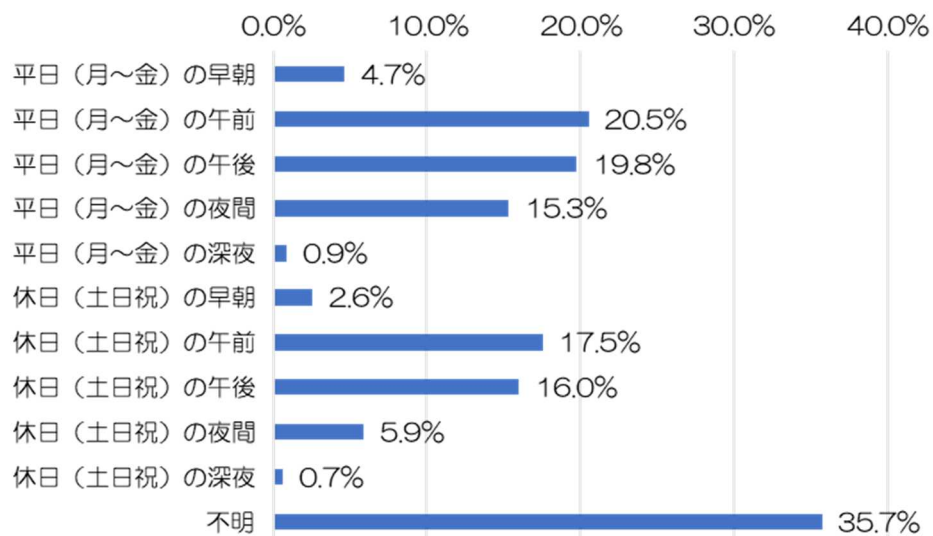
問 6-B-② Aで選んだ運動・スポーツをこの1年間にどのくらいの頻度で行いましたか。



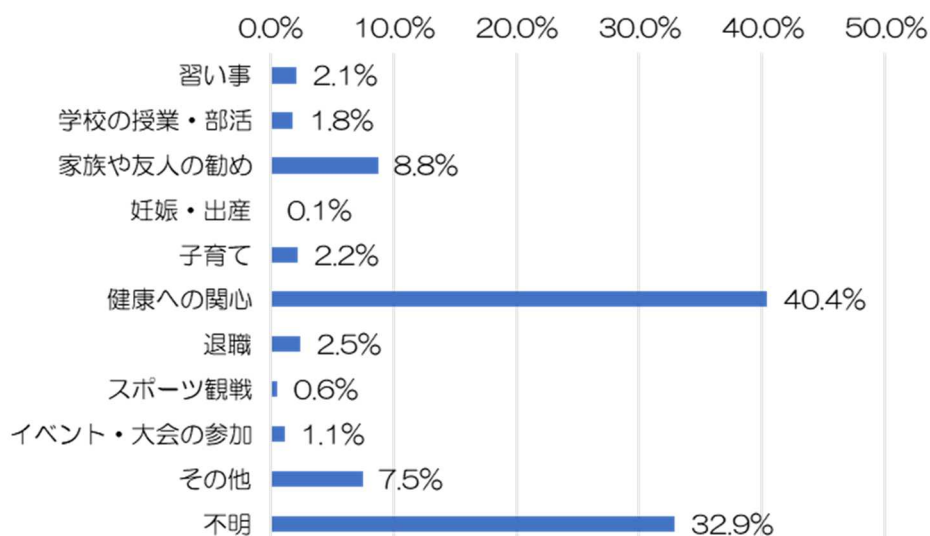
問 6-C-② 使用する施設・場所はどこですか。あてはまるものから3つまで選んでください。



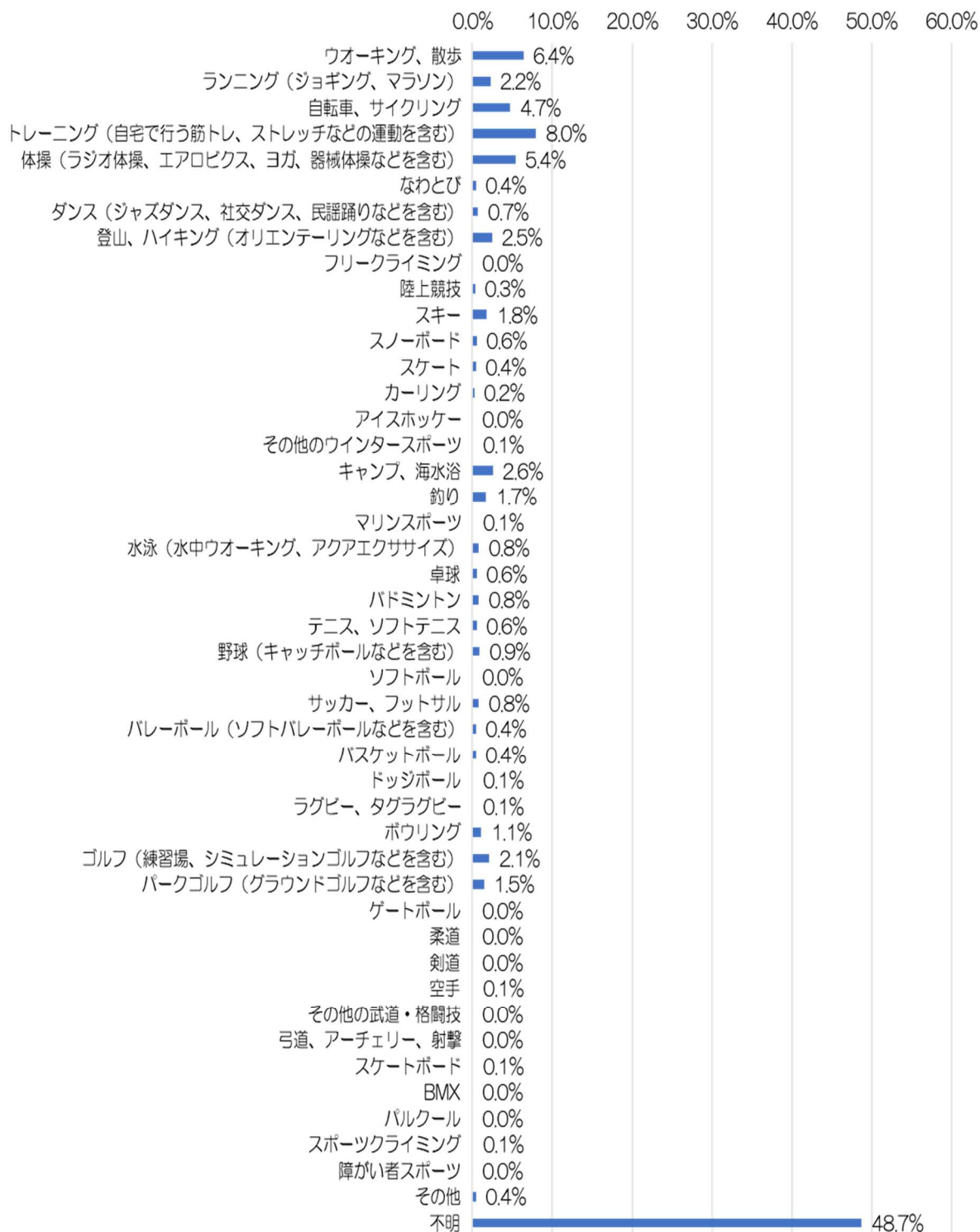
問 6-D-② Cで選んだ施設・場所を利用する時間帯は主にいつですか。あてはまるものから3つまで選んでください。



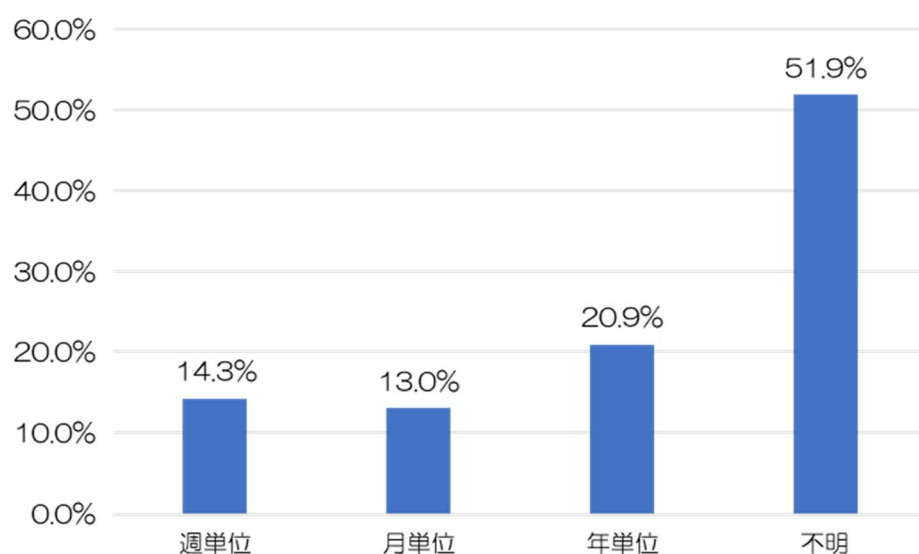
問 6-E-② その種目を始めた主なきっかけは何ですか。最もあてはまるもの1つを選んでください。



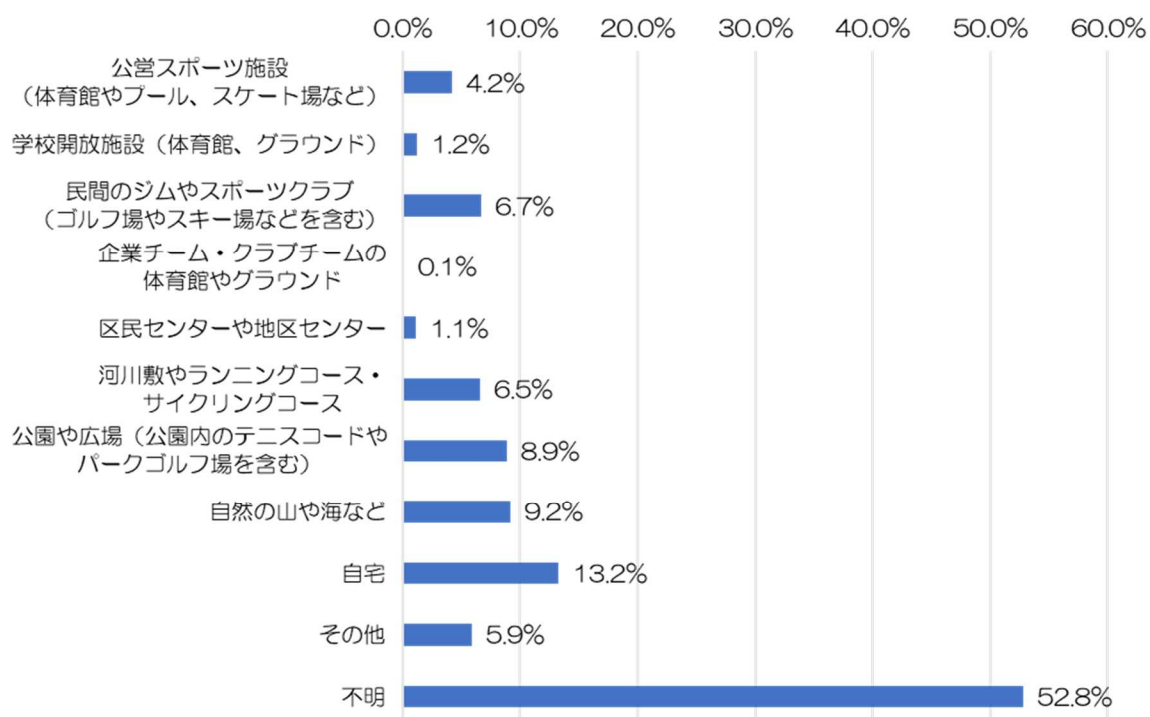
問 6-A-③ 問 1 で、「実施した」に 1 つでも○をつけた方にお聞きします。
過去 1 年間に行なった運動・スポーツのうち、実施回数が 3 番目に多い種目
を選んでください。



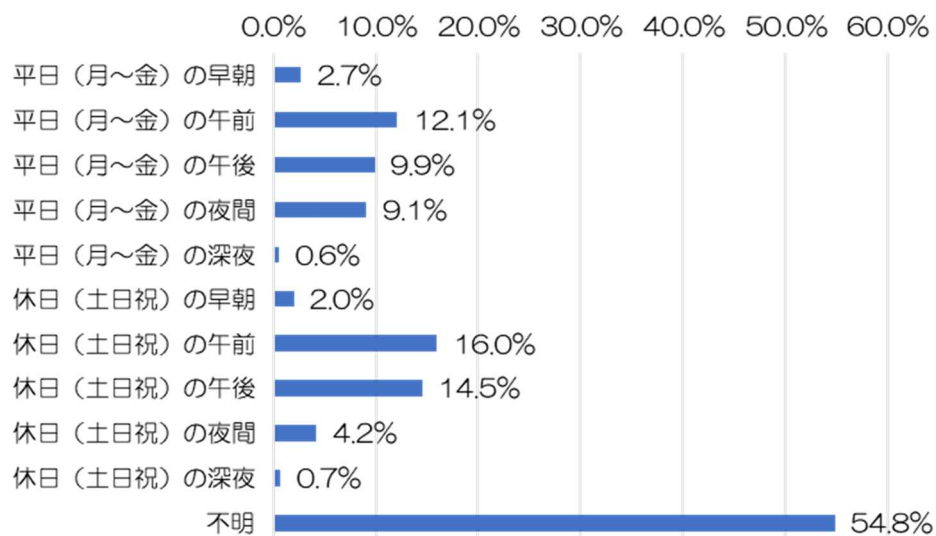
問 6-B-③ Aで選んだ運動・スポーツをこの1年間に何回くらい行いましたか。
あてはまる頻度を選んでください。



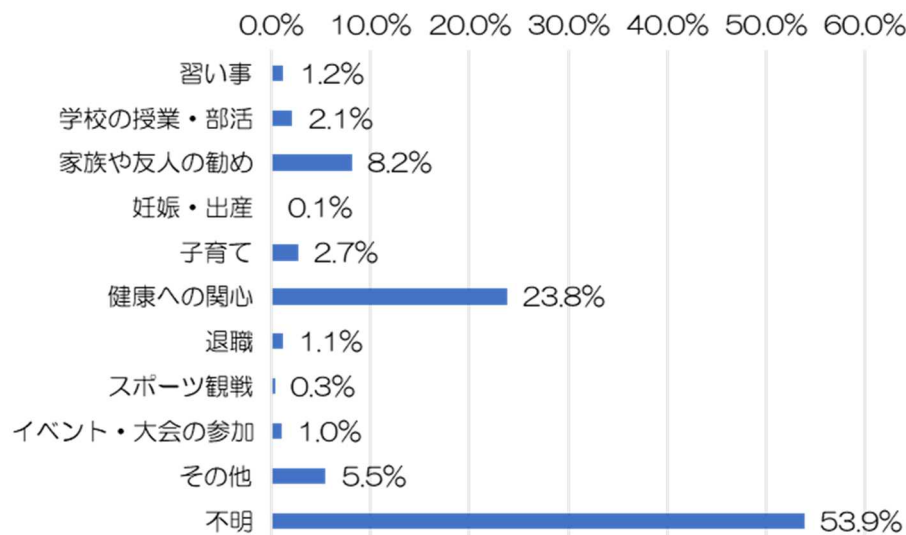
問 6-C-③ 使用する施設・場所はどこですか。あてはまるものから3つまで選んでください。



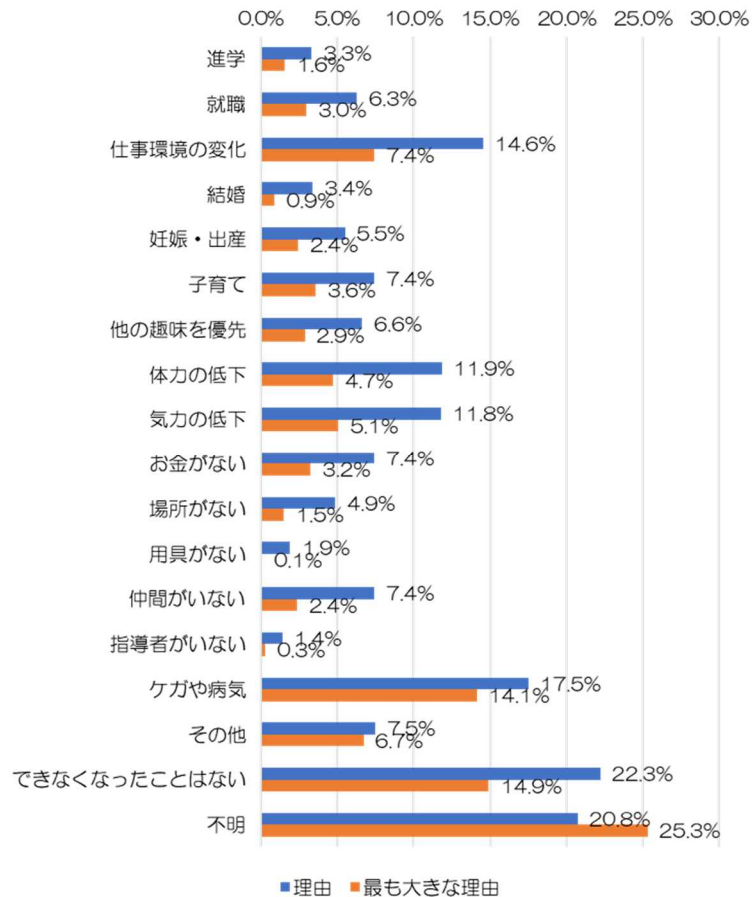
問 6-D-③ Cで選んだ施設・場所を利用する時間帯は主にいつですか。あてはまるものから3つまで選んでください。



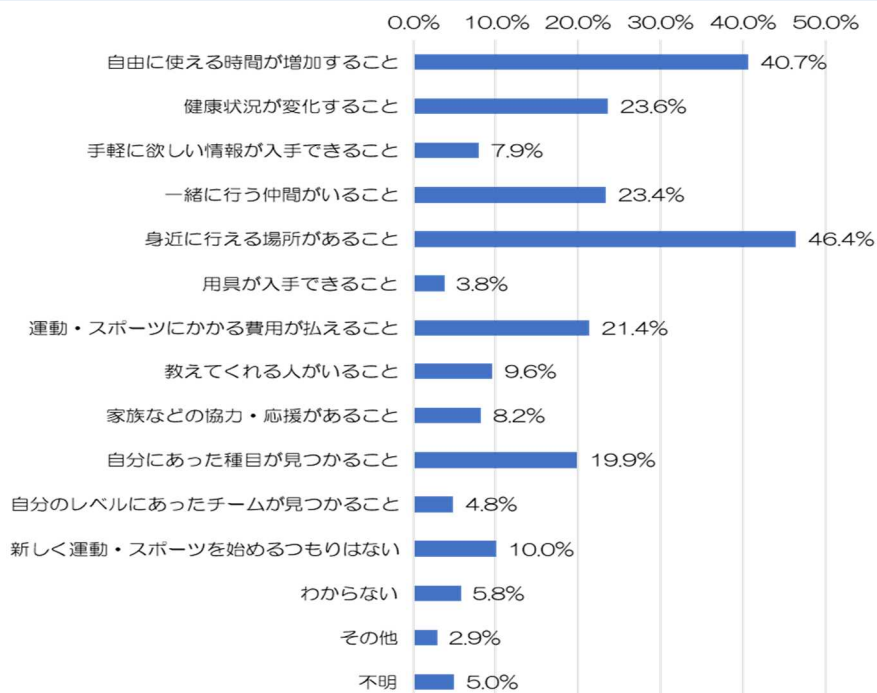
問 6-E-③ その種目を始めた主なきっかけは何ですか。最もあてはまるもの1つを選んでください。



問 7 あなたは現在まで、何かの理由で、実施していた運動・スポーツができなくなった（続けられなくなった）ことがありますか。できなくなったことがある場合は、あてはまる理由すべてに○をつけてください。
また、そのうち最も大きな理由1つについて、記入してください。
できなくなったことがない方、もともと運動・スポーツを行っていない方は「できなくなったことはない」を選択してください。



問 8 あなたが、新しく運動・スポーツを始める、もしくは今以上に運動・スポーツを行うためには、どのようなことが重要だと思いますか。
次の中から、重要だと思うものに3つまで○をつけてください。

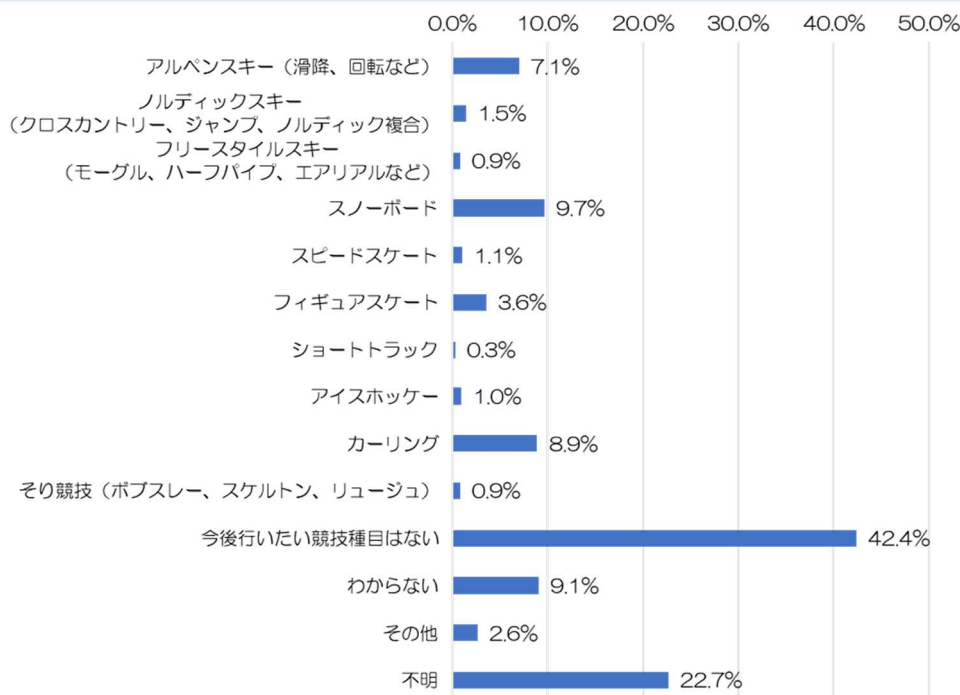


ウィンタースポーツについて

※ ウィンタースポーツとは、問1の種目のうち、スキー、スノーボード、スケート、カーリング、アイスホッケー、その他のウィンタースポーツが該当します。

問9 問1で、ウィンタースポーツ種目の「実施した」に○をつけなかった方にお聞きします。

あなたは、今後行いたいと思うウィンタースポーツの競技種目はありますか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

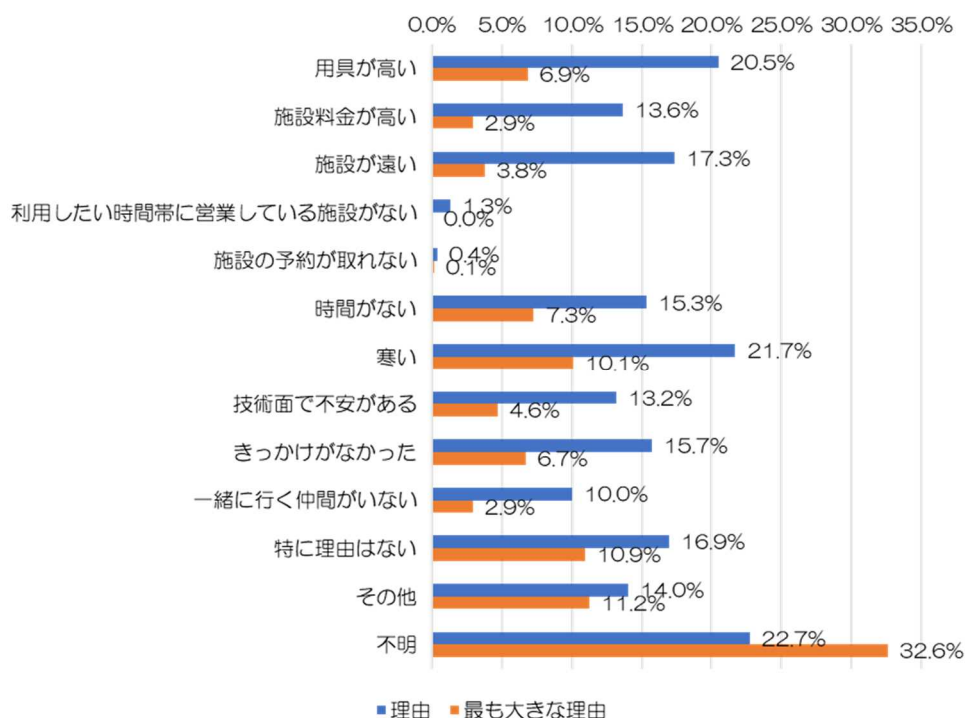


問10 問1で、ウィンタースポーツ種目の「実施した」に○をつけなかった方にお聞きします。

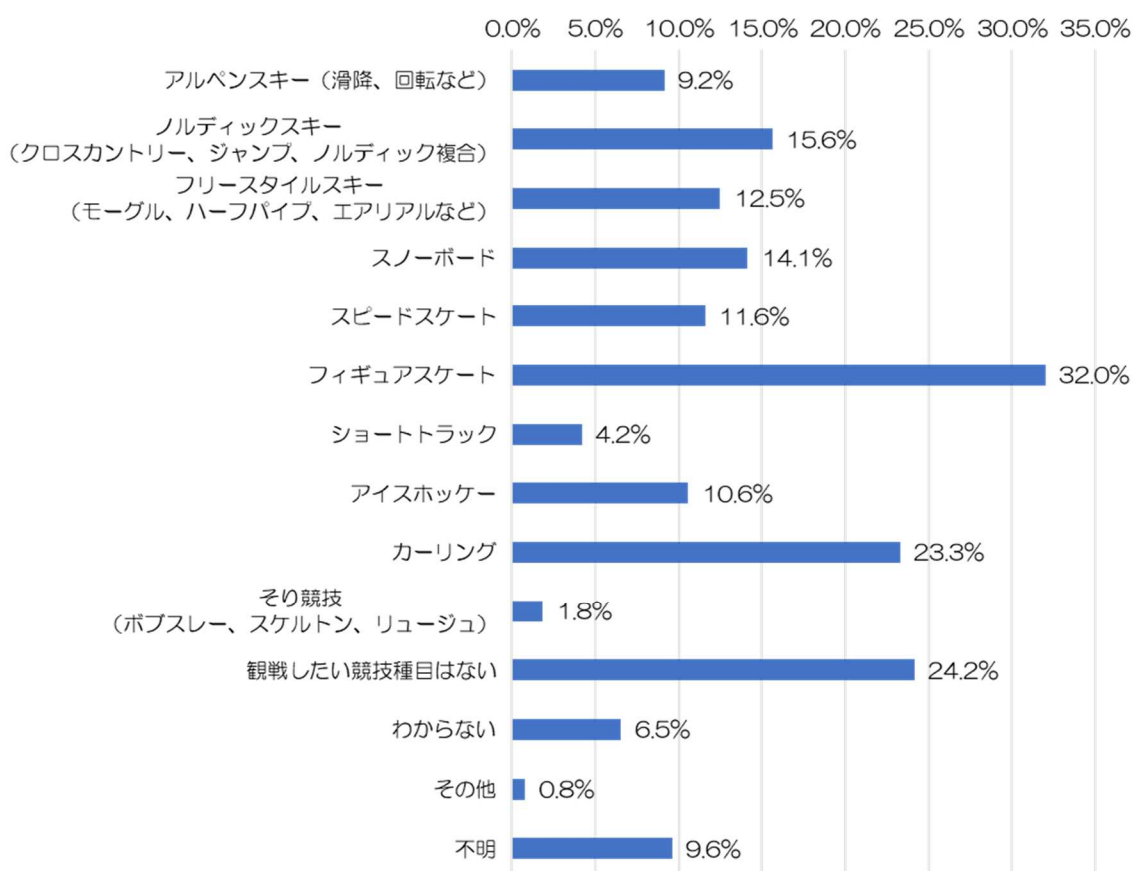
あなたが、ウィンタースポーツをしていない理由はなんですか。

次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

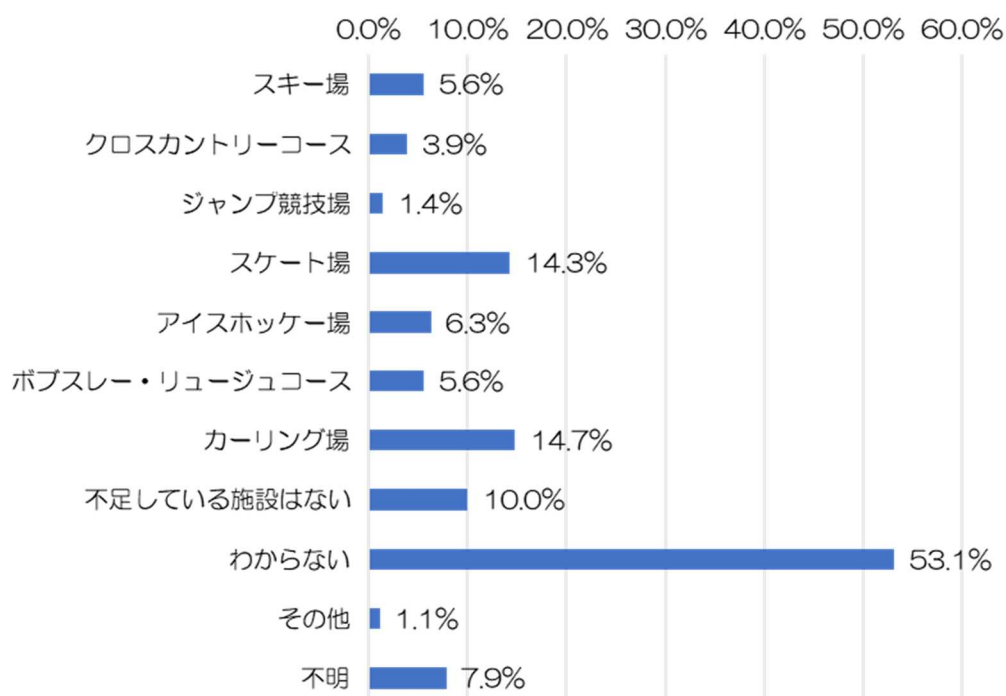
また、そのうち最も大きな理由1つについて、番号を記入してください。



問 11 あなたが、観戦したいと思っているウィンタースポーツの競技種目はありますか。（テレビなどでの観戦は含みません）
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

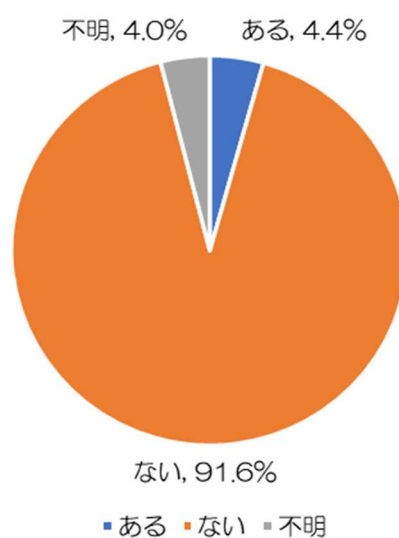


問 12 あなたは札幌市内のウィンタースポーツ環境で、不足していると思う施設はありますか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

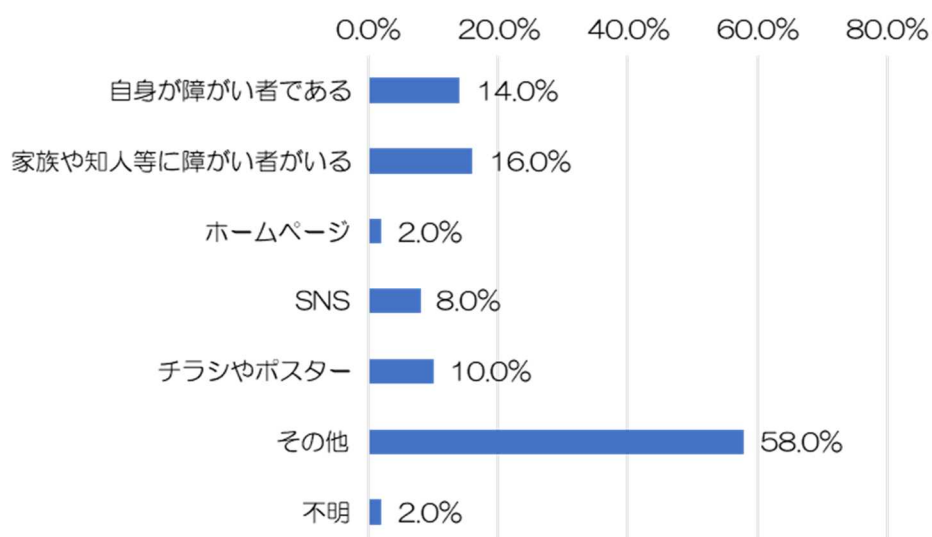


障がい者スポーツとの関わりについて

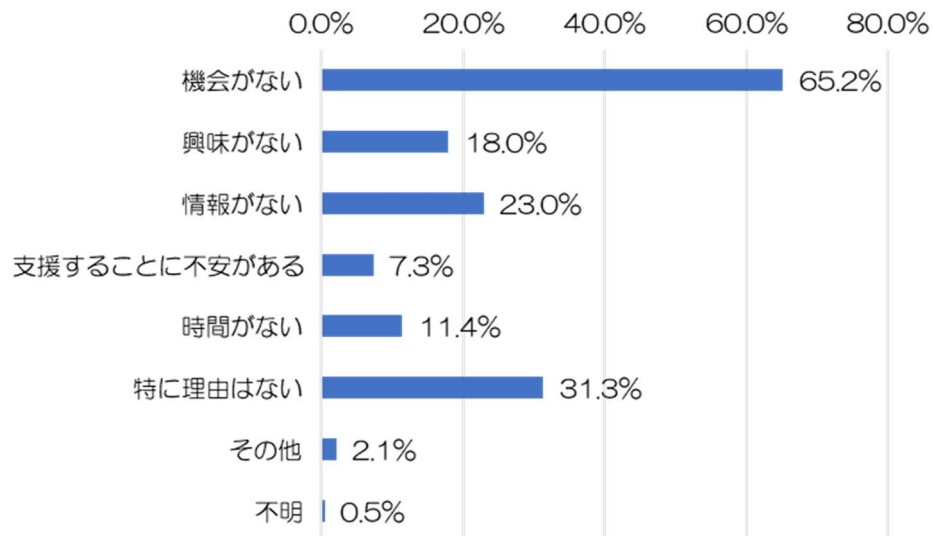
問 13 あなたは、これまで障がい者スポーツに関わったこと（観戦・支援など）がありますか。
次の中から、あてはまるもの1つに○をつけてください。



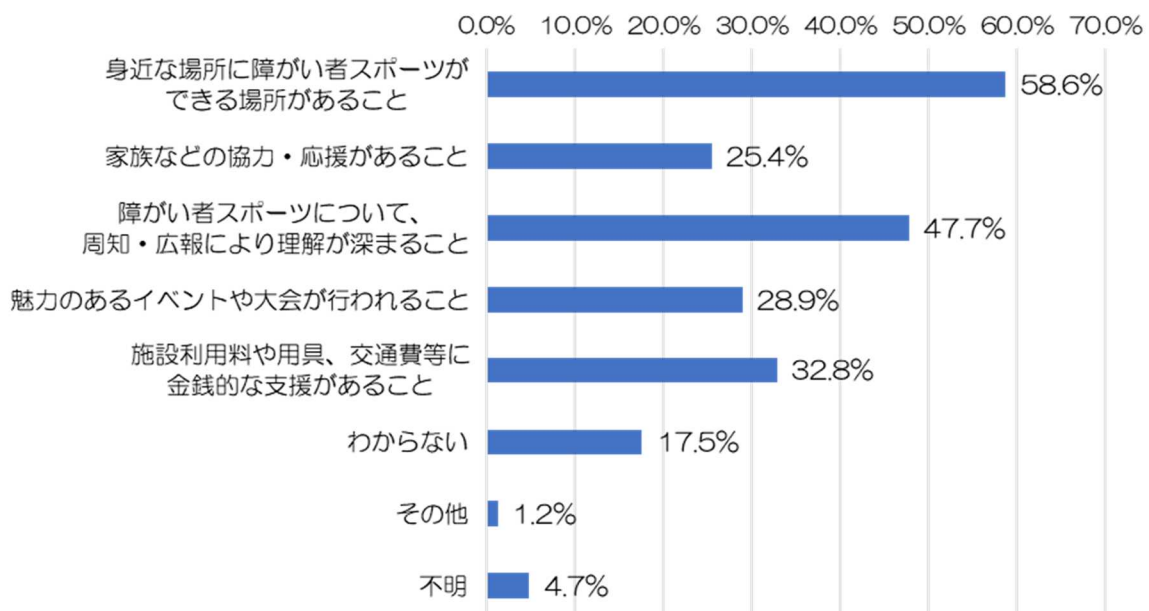
問 14 問 13 で「ある」に○をつけた方にお聞きます。
あなたが、障がい者スポーツに関わったきっかけはなんですか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。



問 15 問 13 で「ない」に○をつけた方にお聞きします。
あなたが、障がい者スポーツに関わったことがない理由はなんですか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

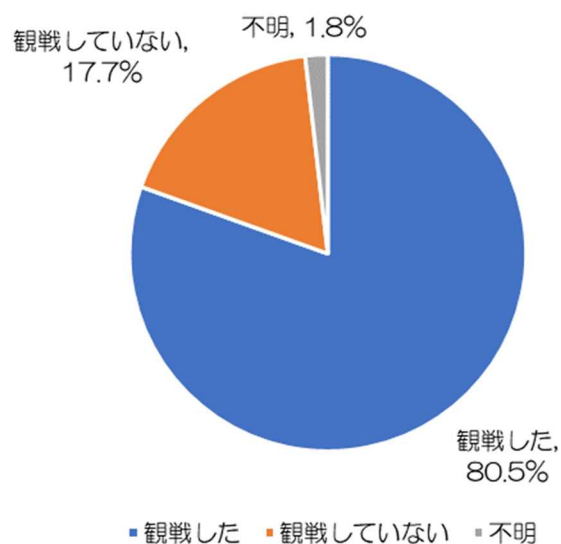


問 16 障がい者スポーツの振興のために必要だと思うことは何ですか。
次の中から、あてはまるものに3つまで○をつけてください。

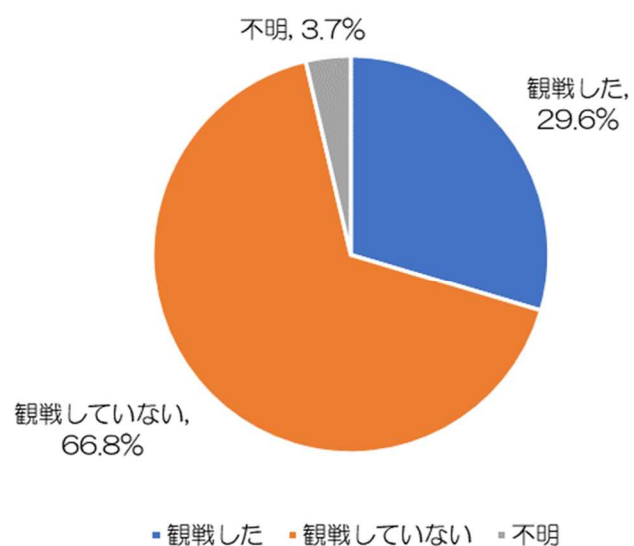


スポーツ観戦について

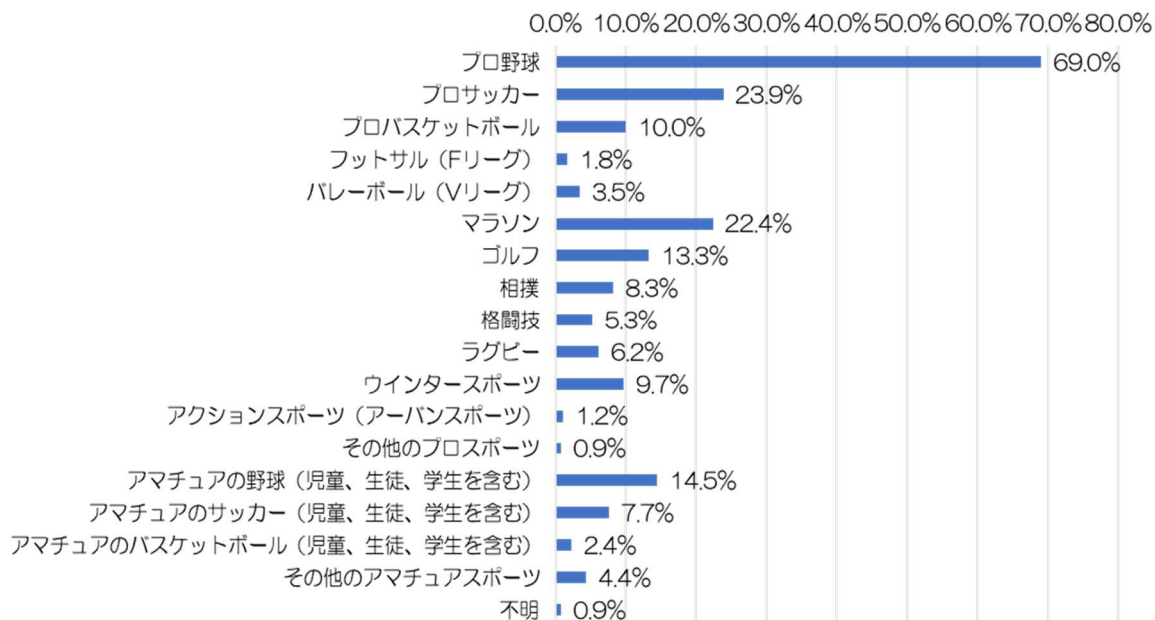
問 17 あなたは、この1年間にスポーツ（アマチュアを含む）を観戦しましたか。（テレビなどでの観戦を含みます）
次の中から、あてはまるもの1つに○をつけてください。



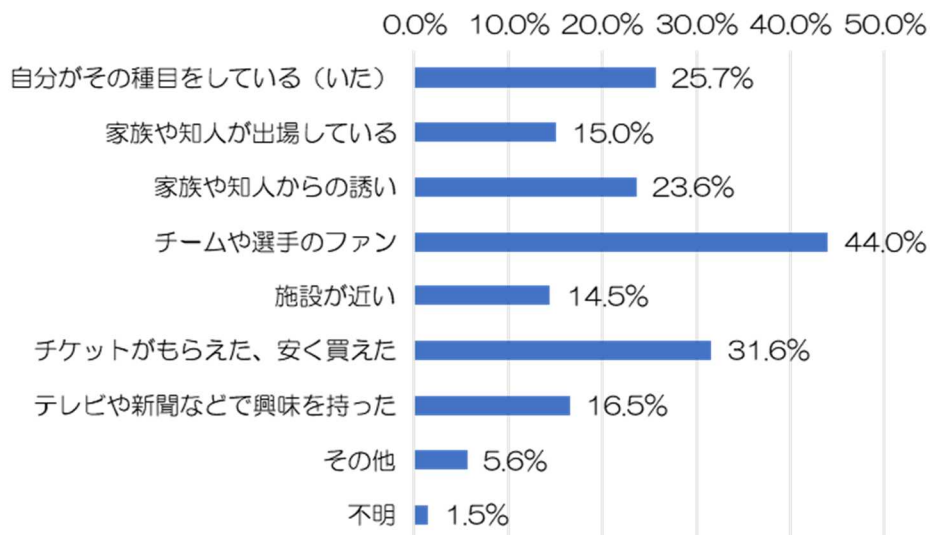
問 18 あなたは、この1年間に直接スポーツ（アマチュアを含む）を観戦しましたか。（テレビなどでの観戦は含みません）
次の中から、あてはまるもの1つに○をつけてください。



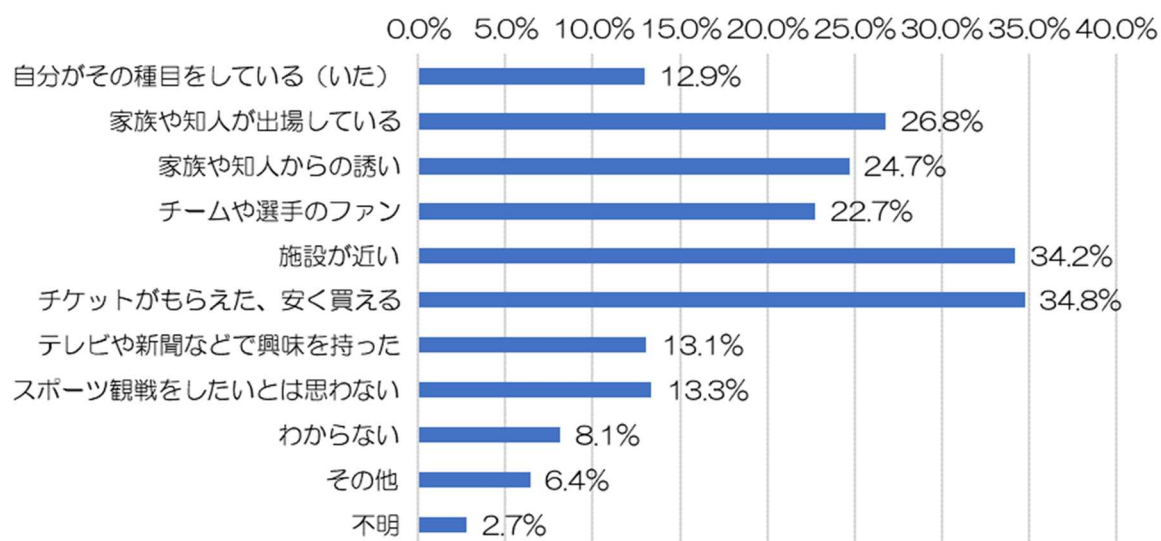
問 19 問 18 で「観戦した」に○をつけた方にお聞きします。
観戦したスポーツはなんですか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。



問 20 問 18 で「1. 観戦した」に○をつけた方にお聞きします。
あなたは、どのようなきっかけでスポーツ観戦を始めましたか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

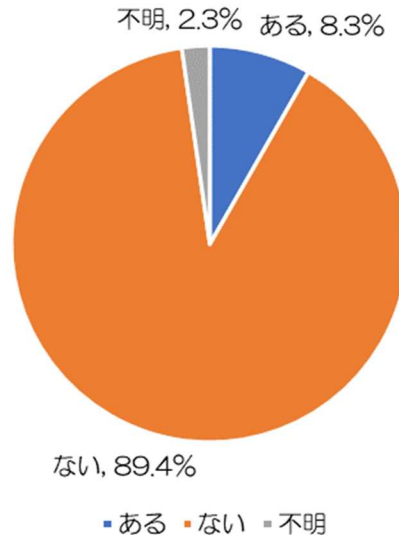


問 21 問 18 で「2. 観戦していない」に○をつけた方にお聞きします。
あなたは、どのようなきっかけがあればスポーツ観戦をしたいと思いますか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

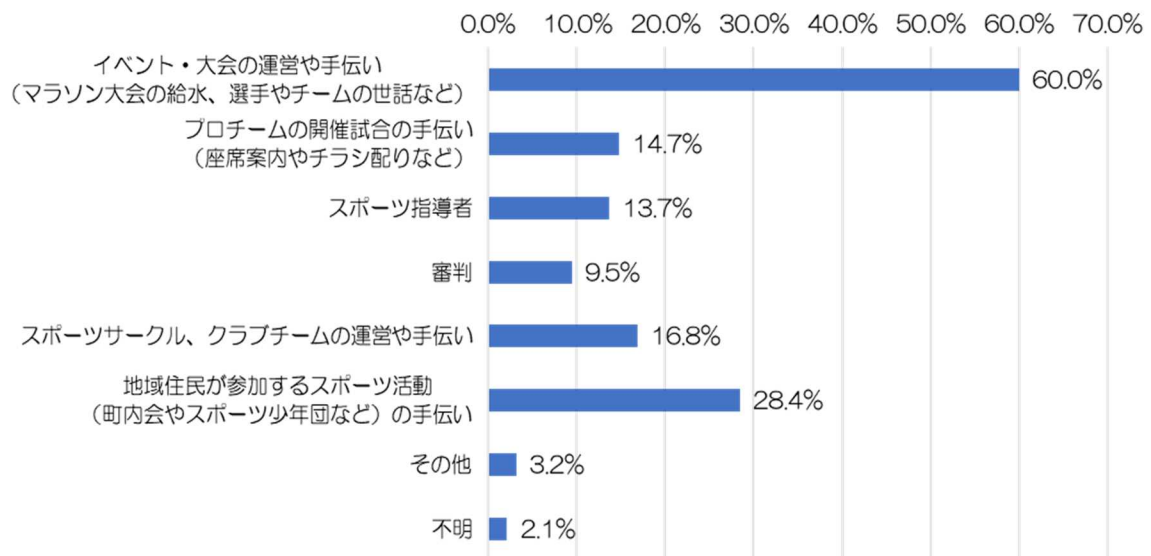


スポーツボランティアについて

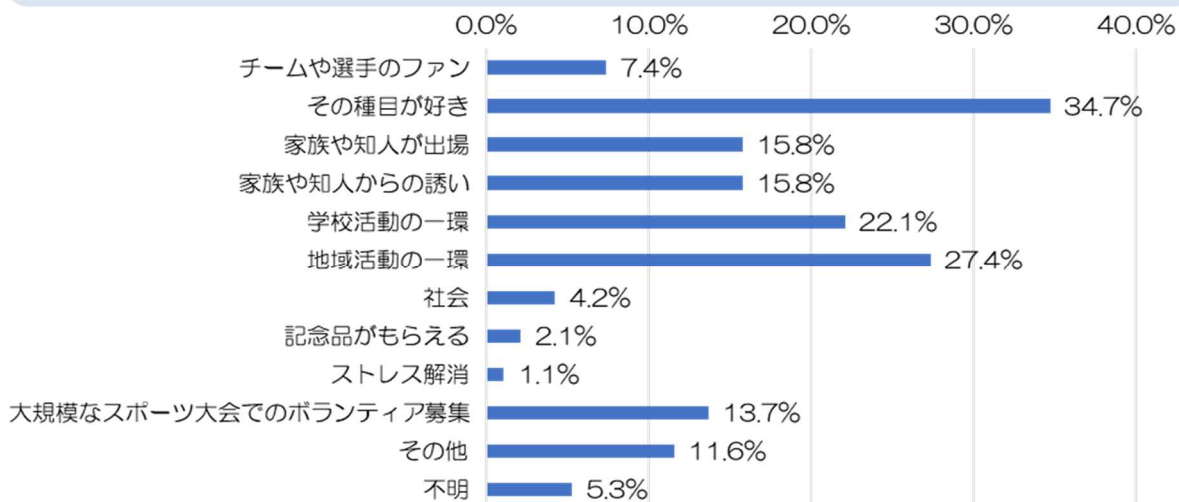
問 22 あなたは、スポーツボランティアをしたことがありますか。
次の中から、あてはまるもの1つに○をつけてください。



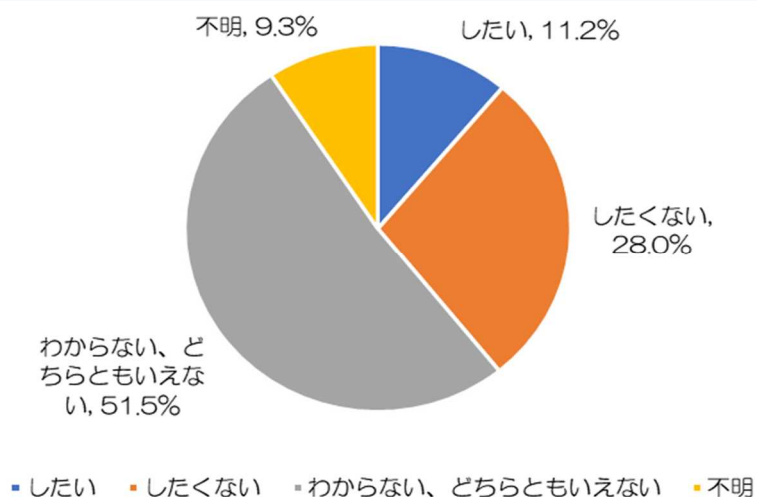
問 23 問 22 で「ある」に○をつけた方にお聞きます。
あなたがしたことのあるスポーツボランティアはなんですか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。



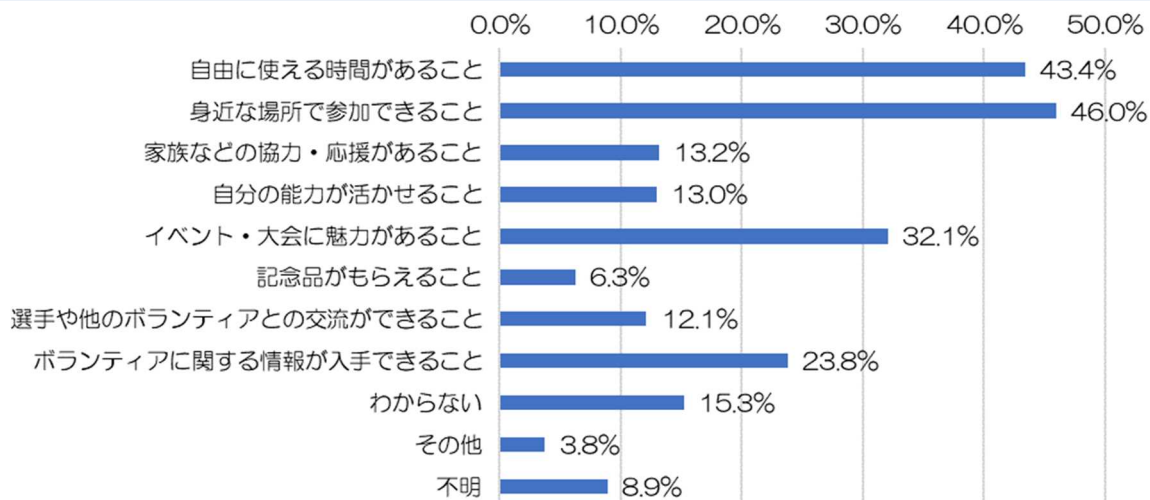
問 24 問 22 で「ある」に○をつけた方にお聞きします。
あなたは、どのようなきっかけでスポーツボランティアを始めましたか。
次の中から、あてはまるものすべてに○をつけてください。



問 25 あなたは、今後（も）スポーツボランティアをしたいと思いますか。
次の中から、あてはまるもの1つに○をつけてください。



問 26 あなたが、スポーツボランティアをするためには、どのようなことが重要だと思いますか。
次の中から、あてはまるものに3つまで○をつけてください。



■ 設計

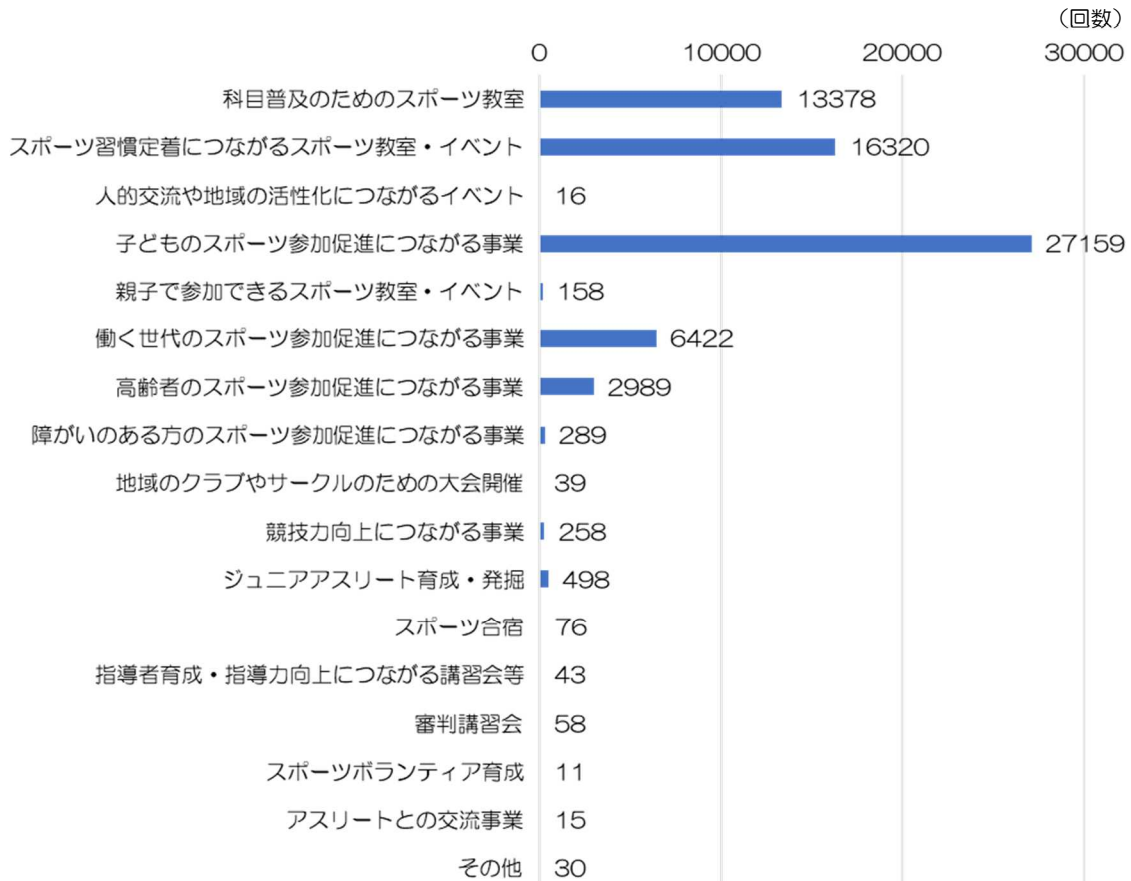
調査期間	令和4年9月13日（火）～10月7日（金）
調査方法	郵送配布・郵送回収及びWEB回答フォームでの回収
調査対象	① スポーツ施設指定管理者（3団体） ② スポーツ協会加盟の競技団体（53団体） ③ 障がい者スポーツ協会及び関連の競技団体（23団体） ④ 札幌グローバルスポーツコミッション（1団体） 計80団体

■ 回答結果

発送数	80通
回答数	52通
回答率	65.0%
内訳	① スポーツ施設指定管理者（3団体） ② スポーツ協会加盟の競技団体（37団体） ③ 障がい者スポーツ協会及び関連の競技団体（11団体） ④ 札幌グローバルスポーツコミッション（1団体）

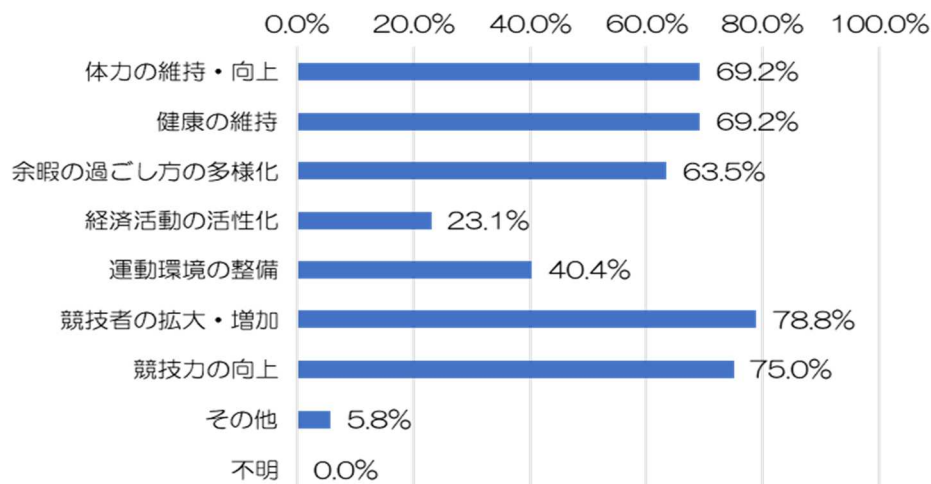
1. 実施事業

令和3年度に実施した事業及び令和4年度に実施を予定している事業について、該当する番号に○をつけ、実施回数を記載してください。

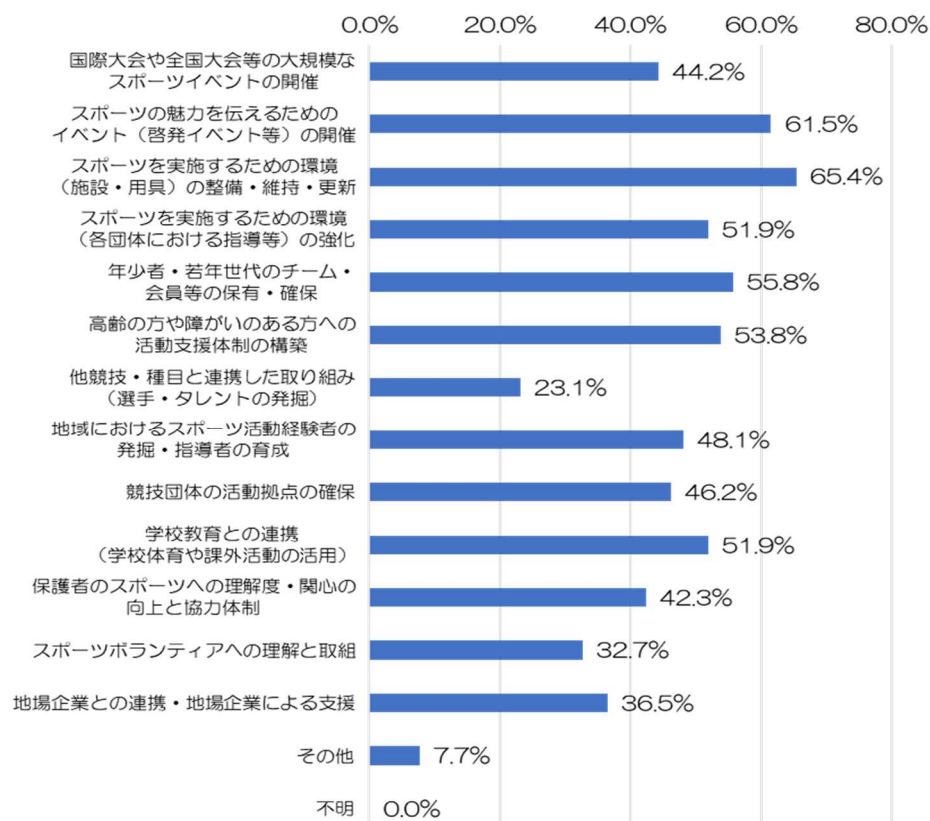


2. 「運動・スポーツ（競技・健康維持運動）のすそ野を広げる」意義と取組に関すること

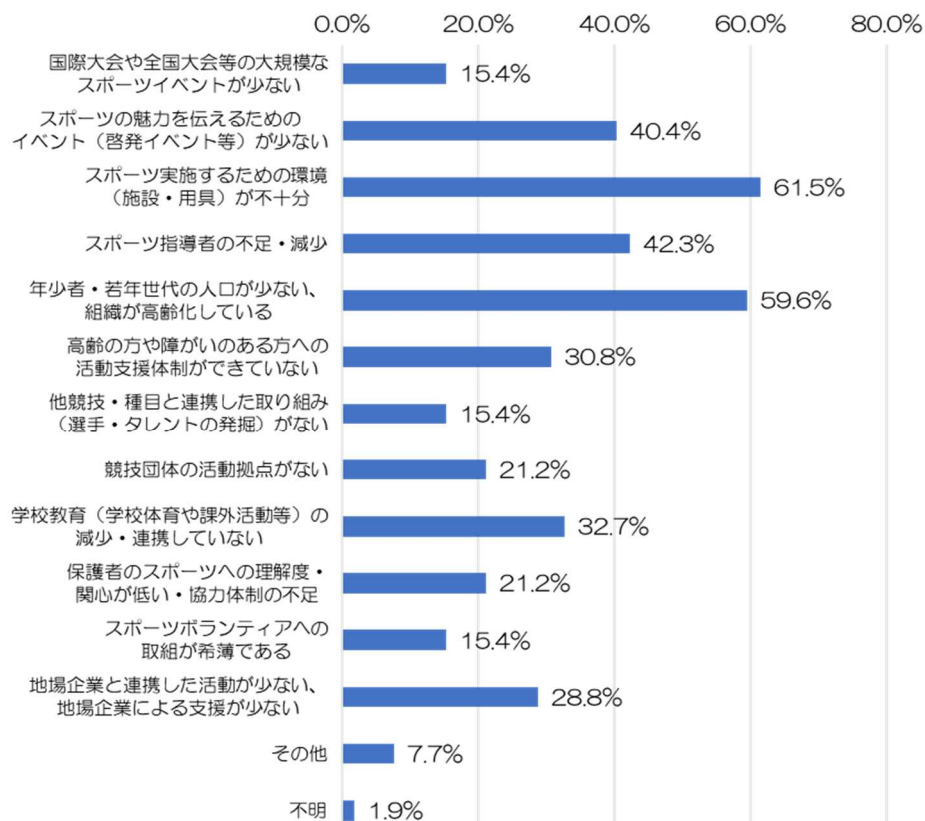
（１）スポーツのすそ野を広げる意義（すそ野が広がることによって達成されること）は何ですか（複数回答可）。



(2) スポーツのすそ野を広げるために必要な取組として考えられることは何ですか（複数回答可）。



(3) スポーツのすそ野を広げるために現在課題となっていることは何ですか（複数回答可）。



3. 子ども・高齢の方・障がいのある方への取組に関すること、ビジネスパーソン（働く世代）等に関すること

(1) 子ども達がスポーツに親しめる（楽しめる）環境をつくるために行っている取り組みについて、具体的事例があればご記入ください。

【回答概要】

・27 団体から回答。

- 子ども向けスポーツイベントや体験会の実施。
- 大会種目に子ども向け種目や親子種目を設定。
- 初心者向け競技の設置、技術レベル・年齢に応じたレッスンの実施

(2) 高齢の方がスポーツに親しむことができる（楽しむことができる）ための取組について、具体的事例があればご記入ください

【回答概要】

・26 団体から回答。

- 大会種目に高齢の方を対象とした種目の設定や、高齢の方向け競技ルールを導入。
- 高齢の方向けのイベントや教室の開催。
- スポーツボランティアとして大会等に高齢の方を派遣し、「支えるスポーツ」として参加できる環境を整備。

(3) 障がいのある方がスポーツに親しむことができる（楽しむことができる）取り組みについて、具体的事例があればご記入ください。

【回答概要】

・22 団体から回答。

- 障がい者スポーツの大会やイベント、体験会の実施。
- 施設の改良やバリアフリー整備といったハード面の整備や、障がい者スポーツ用具の貸出支援。
- 大会の運営協力や審判協力などの支援。

(4) ビジネスパーソン（働く世代）がスポーツに関わることができるような取り組みについて、具体的事例があればご記入ください。

【回答概要】

・18 団体から回答。

- 夜間や土日における教室・レッスンの開催、夜間の施設開放。
- 年齢別による大会の開催。
- スポーツボランティアとして大会等に働く世代の方を派遣し、「支えるスポーツ」として参加できる環境を整備。

(5) ライフイベント（進学・就職・出産など）等により、スポーツから離れた方を対象とした取組について、具体的事例があればご記入ください

【回答概要】

・7 団体から回答。

- 運動習慣がない方にむけた教室や幅広いレベルの教室の実施。
- 資格取得を薦め、指導者、審判等への働きかけを実施。

4. 他の競技団体等との連携・協働、地域との連携・交流等に関すること

◇以下の設問（１）、（２）、（４）については、それぞれ「１ 競技団体・障がい者スポーツ団体」、「２ スポーツクラブ等」、「３ プロスポーツチーム・選手等」、「４ 地域（区・町内会）」、「５ 地域（スポーツ推進委員会・体育振興会）」、「６ 企業・大学」との連携・協働について回答を求めた。

（１）気軽にスポーツを楽しめるような取り組みについて、他の競技団体等と連携・協働している事業があればご記入ください。

【回答概要】

- 競技団体や障がい者スポーツ団体と連携した体験会やイベントの開催。
- プロスポーツチーム、スポーツクラブからの指導者の派遣。
- 区や町内会、大学と連携した地域スポーツイベントの開催。
- スポーツ推進委員、体育振興会、企業との連携した事例は少数。

（２）競技・大会等について、他の競技団体等と連携・協働している事業があればご記入ください

【回答概要】

- 健常者と障がい者が一緒になったチームや、障がい者のみのチームなどでの団体戦の大会開催。
- 区やスポーツ推進委員、体育振興会と連携したスポーツイベント・大会の開催。
- 大学機関との事業連携包括協定によるマラソン大会やスポーツイベントの大会運営への学生の参加。

（３）他の競技団体等や体育施設（管理者）、行政と情報交換を普段から行っている事例があれば具体的な内容をご記入ください。

【回答概要】

- ・回答団体は９団体となっており、情報交換の事例は少数である。
- スクールの開催や練習場所にかかる施設管理者との協議調整。
- イベントや大会の宣伝。

（４）（１）～（３）のほか、今後、他の競技団体等と連携・協働して実施予定、または実施を検討している事業があれば具体的な内容をご記入ください

【回答概要】

- ・回答団体は６団体となっており、新たな連携や協働の予定は少数である。
- プロスポーツチームと連携したSDGsの取り組み。
- オリンピックを始めとしたアスリートを招き、スポーツをすることの楽しさを広く伝えられるようなイベントを実施。

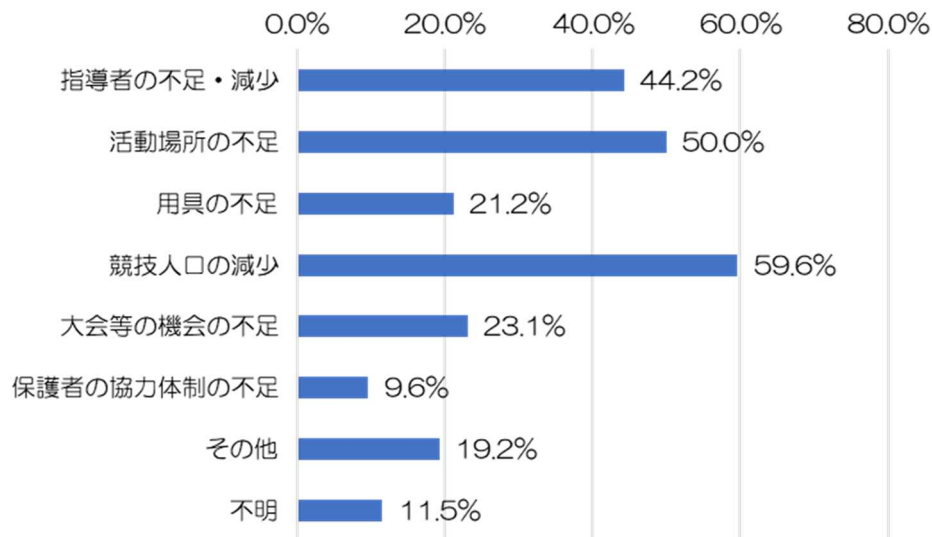
（５）札幌市で活動する「スポーツボランティア」について、貴団体として依頼したいことがあればご記入ください。

【回答概要】

- 体験会、市民スポーツ大会時の運営サポートスタッフの派遣
- 全国大会など規模の大きな大会開催時の競技以外の運営（駐車場誘導、チーム受付）。

5. 競技力向上に関すること

(1) 競技力向上に当たって、現在課題となっていることは何ですか



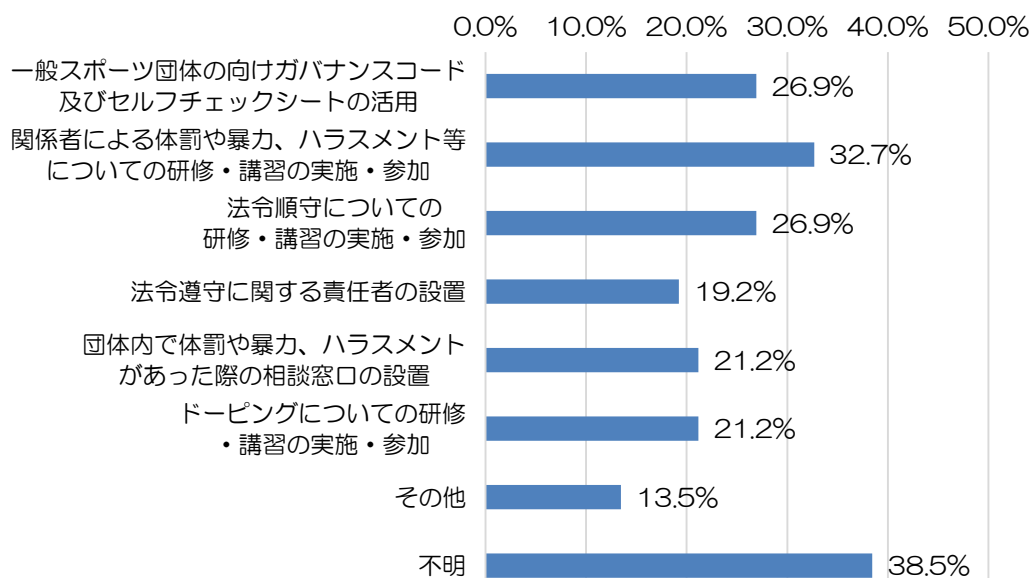
(2) 競技力向上のための取組について、具体的事例があればご記入ください

【回答概要】

- 講習会や強化練習会、練習試合、合宿の実施。
- 指導者研修会の実施、指導者の資質向上にかかる助成。

6. スポーツをする者の安全・安心やスポーツ・インテグリティの確保に関すること

(1) スポーツをする者の安全・安心やスポーツ・インテグリティの確保に関して実施している取組について。



7. スポーツボランティアに関すること

※以下の設問（１）～（３）については、さっぽろグローバルスポーツコミッションのみの設問

（１）スポーツボランティア実施率向上に当たって、重要なことは何か。該当する番号すべてに○をつけてください。

- ① 周知・広報 ② 講習会の開催 ③ 競技大会等、実施機会の確保
④ 記念品など、実施するメリットの付与 ⑤ 団体・企業等への働きかけ ⑥ その他

（２）スポーツボランティア実施率向上のための取組について、具体的事例があればご記入ください。

スマイル・サポーターズの研修について、各競技団体等と連携した競技特化型の研修を実施するなど、経験を蓄積していく取組を進めている。

（３）スポーツボランティアの質の向上のための取組について、具体的事例があればご記入ください。

スマイル・サポーターズの会報誌を毎月作成し、SGSCのHPでも公開している。
また、スポーツ大会・イベントへの派遣だけでなく、自主事業でも活躍の場を設けるようにしている。

○札幌市スポーツ推進審議会条例

昭和 38 年 3 月 26 日 条例第 14 号

(設置)

第1条 本市は、スポーツ基本法(平成 23 年法律第 78 号)第 31 条の規定に基づき、札幌市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を置く。

(組織)

第2条 審議会の委員の定数は、10 人以内とする。

2 特別の事項を調査審議するため、必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる。

3 審議会の委員及び臨時委員は、スポーツに関する学識経験のある者及び関係行政機関の職員のうちから、教育委員会が委嘱する。

(任期)

第3条 審議会の委員の任期は、2 年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 審議会の委員は、再任されることができる。

3 臨時委員は、特別の事項に関する調査審議を終了したときは、退任するものとする。

(施行細則)

第4条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が定める。

審議会役職	氏名	職業・役職
会長	黒田 裕太	北翔大学 准教授
副会長	明石 久枝	札幌市体育振興会連絡協議会 副会長
委員	浅香 博文	一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会 会長
	和泉 明一	札幌市中学校体育連盟 会長
	岩崎 亮輔	株式会社コンサドーレ 企画戦略室 社会連携グループ リーダー
	杉本 淳	札幌市スポーツ協会 事務局長
	尾形 和泰	一般社団法人札幌市医師会 理事
	高橋 宏美	サフィルヴァ北海道
	成田 郁久美	アルテミス北海道
	堀田 真理	札幌商工会議所女性会

番号	語 句	解 説
1	健康寿命	健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと。平均寿命との差が短いほど、個人の生活の質が高く保たれているとされている
2	共生社会	誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、人々の多様な在り方を相互に認め合える全員参加型の社会
3	超高齢社会	総人口に占める 65 歳以上の人口割合が 21%を超える社会のこと。なお、7%以上 14%未満を「高齢化社会」14%以上 21%未満を「高齢社会」と呼ぶ
4	ライフステージ	人間の一生において節目となる出来事（出生、入学、卒業、就職、結婚、出産、子育て、退職など）によって区分される生活環境の段階
5	ライフスタイル	生活様式、営み方。また、人生観・価値観・習慣などを含めた個人の生き方
6	レガシー	オリンピック・パラリンピック競技大会などの開催により開催都市や開催国が長期にわたり継承・享受できる、大会の社会的・経済的・文化的な恩恵
7	持続可能	人間活動、特に文明の利器を用いた活動が、将来にわたって持続できるかどうかを表す概念。環境問題やエネルギー問題だけではなく、経済や社会など人間活動全般に用いられる
8	DX（デジタルトランスフォーメーション）	デジタル技術の活用により、ビジネスモデルの改変や市民生活の質の向上を始めとした社会や経済、生活といったあらゆる面における大きな変革をもたらすこと
9	スポーツ・インテグリティ	ドーピング、八百長、違法賭博、暴力、ハラスメント、差別、団体ガバナンスの欠如等の不正がない状態であり、スポーツに携わる者が自らの規範意識に基づいて誠実に行動することにより実現されるものとして、国際的に重視されている概念
10	人生 100 年時代	ロンドン・ビジネス・スクール教授であるリンダ・グラットン氏が共著「ライフ・シフト 100 年時代の人生戦略」で提唱した言葉。寿命の長期化により先進国の平成 19 年（2007 年）生まれの 2 人に 1 人が 103 歳まで生きる時代が到来するとし、100 年間生きることを前提とした人生設計の必要性を論じたもの

11	グローバル化	ヒト、モノ、カネ、情報の国境を越えた移動が地球規模で盛んになり、政治や経済など様々な分野での境界線がなくなること、相互依存の関係が深まっていく現象
12	多文化共生	国籍等の異なる人々が、互いの文化的差異を認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと
13	ウインタースポーツシティ	ウインタースポーツの拠点としての環境・ライフスタイルが充実した都市
14	都市機能	都市の持つ種々の働きのこと、所業、居住、工業、交通、政治、行政、教育などの諸活動によって担われる
15	スノーリゾート	人々が休暇や余暇を過ごすために訪れる、冬季の雪を魅力とした場所及びそこでの活動。スキー場でスキーやスノーボード等を楽しむだけでなく、雪遊びや雪道の散策、スキー場周辺の街中での食事やショッピングなど、多様な活動を含めた概念
16	スポーツツーリズム	スポーツを「観る」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「支える」人々との交流、あるいは生涯スポーツの観点からビジネスなどの多目的での旅行者に対し、旅行先の地域でも主体的にスポーツに親しむことのできる環境の整備、そしてMICE推進の要となる国際競技大会の招致・開催、合宿の招致も包含した、複合的でこれまでにない「豊かな旅行スタイルの創造」を目指すもの
17	都市基盤	鉄道・道路・上下水道・公園・緑地・学校や区役所等の建築物など、都市を構成する基盤となる構造物
18	持続可能な開発目標（SDGs）	2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標。持続可能な世界を実現するための17の目標（ゴール）と169の取組（ターゲット）から構成されている
19	スポーツボランティア	スポーツイベントや大会の運営のほかにも、スポーツサークルやクラブチームの運営、指導者や審判、地域のスポーツ活動等のボランティアとして携わることを指す
20	スマイル・サポーターズ	冬季アジア札幌大会におけるスポーツボランティアの名称。現在も札幌マラソンや北海道マラソンなどのスポーツイベントにおいてボランティア活動を行っている

21	スポーツ推進委員	スポーツ基本法第 32 条に基づき、市町村教育委員会が委嘱する非常勤の職員（任期 2 年）。各地域のスポーツ関係団体と連携を図り、全市及び各区スポーツ事業等の企画・運営及び指導を行うなど、地域スポーツの振興に取り組んでいる
22	シティドレッシング	大規模イベントの PR などのために、大型ポスターや電飾などによって、街全体を飾り付ける取り組み
23	ビジネスパーソン	20 歳代から 50 歳代にかけての働く世代のこと
24	交流人口	観光者などの一時的・短期滞在からなる人口。定住人口（その地域に住んでいる人口、居住人口）に対する概念
25	アクセシビリティ	年齢や身体障害の有無に関係なく、誰でも必要とする情報に簡単にたどり着け、利用できること
26	バリアフリー化	高齢者や障がいのある方などが、社会生活をしていく上で障壁となるものを除去すること。道路、建物、交通手段など物理的なものだけでなく、社会的、制度的、心理的なものを含めた全ての障がいを無くすこと
27	北海道オール・オリンピックズ	北海道のオリンピック・パラリンピアン相互の理解と親睦を図り、オリンピックムーブメントを推進し、スポーツを通じた世界平和と国際的友好親善に貢献するとともに、北海道におけるスポーツの振興に寄与することを目的として設立された団体
28	シティプロモート	まちの魅力を再発見し、創造することで新しい都市の輝きをつくり出すとともに、市民が誇りをもってその魅力を内外に発信することで、世界の人々と多様な関係をつくり出すための一連の活動
29	パブリックビューイング	公園・広場や体育館、競技場などに大型スクリーンを設置し、大勢で別の会場で行われているスポーツの試合などを観戦すること
30	インバウンド	外国人観光客が日本に旅行しに来ること
31	オリンピック・パラリンピック教育	オリンピック・パラリンピックを題材にして、①スポーツの意義や価値等に対する国民の理解・関心の向上、②障がい者を含めた多くの国民の幼少期から高齢期までの生涯を通じたスポーツへの主体的参画の定着・拡大、③児童生徒を始めとした若者に対する、これからの社会に求められる資

		質・能力等の育成を推進することを目的とした教育
32	シビックプライド	市民が、都市を構成する一員であることを自覚し、誇りや愛着をもって、都市をより良くしようとする当事者意識
33	アクションスポーツ	ボルダリング（スポーツクライミング）、BMX（自転車）、スケートボード、3×3（バスケットボール）などの都市型スポーツ
34	オープンスペース	都市または敷地内で、建造物の建っていない場所。空き地
35	ユニバーサルデザイン	文化・言語・国籍の違い、老若男女といった差異や障がい・能力を問わずに利用できるよう配慮された設計（デザイン）
36	フレイル	年齢を重ねることにより体や心の働き・社会的なつながりが弱くなった状態
37	心のバリアフリー	様々な心身の特性や考え方を持つ全ての人々が、相互に理解を深めようとコミュニケーションを取り、支え合うこと
38	I C T	情報サービス業などの Information and Communication Technology の略。情報や通信に関連する科学技術の総称
39	総合型地域スポーツクラブ	子供から高齢者まで（多世代）、様々なスポーツを愛好する人々が（多種目）、初心者からトップレベルまで、それぞれの志向・レベルに合わせて参加できる（多志向）、という特徴を持ち、地域住民により自主的・主体的に運営されるスポーツクラブ
40	地域スポーツクラブ	住民がその興味又は関心に応じて身近にスポーツに親しむことができるよう、住民が主体的に運営するスポーツ団体
41	体育振興会	地域のスポーツ振興を図ることを目的として、学校を拠点として自主管理運営する、地域住民による組織
42	指定管理者	公の施設の設置目的を効果的に達成するため、法令等に基づき、その施設の管理運営を行うよう、地方公共団体によって指定された、法人その他の団体